

Oblige

特集 夏の日の親子対話のために――

君よ「抽象概念」を語れ

いつの頃からか私たちは、実体の伴わないものについて
考えたり語ることをやめてしまった。
たとえば、誇り、芸術、死、家族、夢など。
その結果、出現した効率的で合理的な社会は、
何故か、利己的で冷酷な人間を生み出している……。

世界遺産に認定された
白神山地にみる自然と人間の共生

櫻友クラブ主催の
イベント案内

Color of Paradise

樂園の色

菅原令子
(平1英)

すがわら・れいこ／1966年
東京生まれ。カラーアナリスト、イメージコンサルタント。米国にて同資格取得。
現在、(株)インプレッションにて色を通して衣食住のトータルコンサルティングを行なう。同社取締役。



青

プールサイド・レストランで遅めのランチをとて、読書をしていたら、いつの間にか眠ってしまいました。火照った体を冷やすために、プールに飛び込み上がってみると、脱ぎ捨てておいたはずのビーチウェアがデッキチェアにさり気なく掛けてありました。タイのサムイ島。パティック地の青が印象的でした。

カラーコンサルティングでお客さまに似合う色を診断する時、私はよく「好きな色」を伺う。好きな色と似合う色は必ずしも一致しないが、似合う色は周囲からの評判がよいので好きな色であることも多い。またそれ以上に、「好きな色」はその人自身の性格や、心の状態をある程度、物語る。短時間で、相手の方の人柄やニーズを把握するには貴重な情報である。日本人は青好きな民族といわれる。企業のコーポレートカラーにも、政治家のイメージカラーとしてもたくさん存在するし、私のお客様にも青系統の色

を好む方は多い。水や空を連想させる澄んだ印象の青。色の中で最も人を緊張させるのは赤だが、青は一番リラックスさせる色。内臓の働きを司る自律神経の働きを抑え、血圧、呼吸、筋肉緊張が減少するためだ。青を見たり、身に着けた人間は、平和で穏やかな気持ちになる。現実を醒めた目で見つめ、自制を促す青はダイエットに最適の色といわれるが、青い食器は、食物に多くみられるオレンジ色や茶色とはお互いを引き立てる補色関係にあり、実は食事をおいしそうに見せる効果があるので、油断禁物である。

Oblige [オブリージ]

Summer No.22
1998.7.25

CONTENTS

COVER

巨石に刻まれた、キリン、サイ、シマウマ……。
これはアフリカ大陸南西部の国・ナミibiaの
ナミブ砂漠で発見されたもの。当時、
大自然に生きる動物は神だったのでしょうか。
Composition of Photographs/Takeshi Higo



特集

夏の日の親子対話のために――

君よ「抽象概念」を語れ

黛りんたろう 4

海外帰国子女は日本を変えられるか？

――国際文化交流学部を擁し、この春スタートした学習院女子大学にみる

国際化時代の教育の果たす役割 36

- | | |
|----------------------|----|
| ●楽園の色(3) | |
| 「青」菅原令子 | 1 |
| ●地球快適講座／豊かさのできること(9) | |
| クリスティーナ・ノーブル財団子供基金 | 15 |
| ●オブリージ・エッセンス | |
| [演劇] 池田有希子 | 18 |
| [医学] 中原英臣 | 23 |
| [スポーツ] 佐々木明子 | 26 |
| ●人物クローズアップ | |
| 池坊保子（衆議院議員） | 19 |
| ●OB・OG・エアメール(3) | |
| フィンランド・ヘルシンキ | 24 |
| ●雪三郎イズム(3) | |
| 流行の方法論 渡辺雪三郎 | 42 |
| ●食卓の四季(3) | |
| マッシュルーム 江上種英 | 44 |



誌上夏期講座／経済より人を豊かにするもの

世界遺産に認定された

白神山地にみる自然と人間の共生 江川正幸 10

クロアチア探訪記

ここは、かつて戦場だった――。石井信平 14

座談会

編集ボランティア奮闘談

27

OBLIGE CLUB

櫻友クラブからのお知らせ

30

TOPICS

櫻友クラブ運営委員会 吉江隆信

33



CAMERA JUN-ABE
MASAYUKI-EGAWA
KAZUHIKO-MATSUSHIMA
TAKEO-HAYASHI
HIROAKI-TSUKAMOTO
YUJI-HIRAYAMA
FUMIE-WADA
YUKISABUROH-WATANABE

ILLUST artpost
《KIMIKO-TAKIGUCHI
YUKI-SAEKI》

LAYOUT YUKO-KUDO
KAORU-SUZUKI

EDITOR FUJINGAHO-SHA
CREATION I SAY

SPECIAL THANKS FUJINGAHO-SHA
CREATION I SAY

君よ 「抽象概念」 を語れ

特集

夏の日の親子対話のために

リゾート地として知られる、インドネシアのバリ島では、家事一切を母親が取りしきり、父親はほとんど働かないという。父親は何をしているのかと、男女平等論者でなくとも気になるが、これが子供に、「抽象概念」を語るのだという。

日がな一日、田圃の畦道に腰をおろし、息子や娘たちに、空を、雲を、風を、光を、それがいかなるものかを語るのだという。もちろん、そこにおわす神々のことでも……。我々は労働は尊いことだと教えられ、そう信じて生きてきた。それが日本の経済的繁栄をもたらしたものだと知つてはいるが、そこに重大な何かが欠けていると思う人に、この特集を贈りたい。

写真提供／株式会社 地中海クラブ

まゆづみ・りんたろう／1953（昭和28）年東京生まれ。学習院初等科、中等科、高等科から、昭和51年学習院大学文学部哲学科卒業。NHK京都勤務を経て現NHKドラマ番組部チーフディレクター。代表作に映画『RAMPO』（松竹）、NHK大河ドラマ『花の乱』、『青吉』、ドラマスペシャル『ウサギの休日』、『ダックスフントのワープ』、土曜ドラマ『風になれ鳥になれ』、水曜ドラマ『鏡は眠らない』、ハイビジョンドキュメンタリー『シド・ミードの世界』、舞台演出『花のほかには』（清春芸術村公演）など

NHKドラマ番組部チーフディレクター
眞りんたろう
(昭51酉)

誇り

はたして「誇り」が、今回の特集企画であるところの「抽象概念」の範疇に入るかどうか、いささか疑問視される危惧がないとはいえない。

しかし今日、たとえば「援助交際」をする女子高生たちに、「誇り高い人生について」聞いたとき、質問の意味を正確に把握する割合は、きわめて低いのではないかろうか、という仮説のもとに、この語に抽象概念の仲間入りをさせてみることにする。

「誇り」について思いをめぐらす時、まず立ち現れてくる光景がある。場所は学習院初等科の講堂、時は昭和三十年代中頃の、天皇誕生日の日の午前中である。整然と起立した我々生徒たちの正面の演壇に、司会役から紹介された、当時の学習院院長・安倍能成氏が、ステッキを手にゆっくりと進んでくる。

白髪白皙^{しやく}の氏の全身から、広い講堂をしんとさせる厳かなものが放射されている。それまで騒いでいた生徒も、もはや一言も発さず白い歯すら見せる者はいない。

唱した所得倍増計画のただ中で、日本中が繁栄を夢みて邁進していく時代だった。東京オリンピックが近いことも、大きな弾みを与えていた。ともすれば、経済発展に奉仕するもの以外は意味を失う時



*1 どもん・けん／1909年～1990年没。写真家。報道写真の鬼と呼ばれた、リアリズム写真を確立した写真界の巨匠。1959年に『日本風土記』、『古寺巡礼』、「民族の美」の一連の写真で芸術選奨を受賞。出身地山形県酒田市に、日本最初の写真専門美術館として土門拳記念館が設立された。個人の写真記念館としては世界でも唯一である。

*2 しまざき・とうそん／1872年～1943年没。詩人・小説家。初期の別号に古藤庵無声（こうとうあんむせい）、無名氏などがある。1893年創刊の「文学界」において、初期浪漫主義文学運動に参加し、その後『若菜集』及び『一葉舟』所収の詩編を制作、散文作家の道を歩みはじめ、田山花袋と共に自然主義の代表作家と目されている。その他主な著作には『破戒』、『桜の実の熟する時』等。

*3 しが・なおや／1883年～1971年没。小説家。学習院高等科在学中から翻作を始める。1910年に有島武郎、里見、武者小路実篤らと同人雑誌「白樺」を発刊。感情的、感覚的把握に優れ、特に短編の完成度は高く近代日本文学を代表する。1949年文化勲章受章。主な著作は、「城の崎にて」、「網走まで」、「小僧の神様」、「暗夜行路」等。

私の手元に、写真家・土門拳の「風貌」という写真集がある。島崎藤村、志賀直哉らの写真と一緒に、我らが安倍能成氏の姿を見ることができる。

モノクロームのフィルムに写し撮られた、これら明治生まれの作家、文化人、科学者、芸術家たちの風貌は、我々が失つてしまつたものに満ちて、今なお、輝いている――。

代になり始めていた。明治生まれの安倍氏の、哲学者、教育者としての一徹な思考、生き方は、当時にあって既に、今日の異様な文化的、教育的行き詰まりを予見されて、我々生徒に警告をされていたのではないだろうか。繁榮のもたらした幸福を実感したのも束の間、いま日本人は、引き換えに手放してしまったものの大きさに狼狽^{らうわい}している。

失われたもの——その最たるもののは、「誇り」なのかもしれない。

冒頭、現代の女子高生に批判的な仮説を立てたけれども、彼女たちは「誇り」を持って生きる親や教師や大人たちを日頃見る機会がないから、抽象概念としてしか、この語は存在しないだろう。彼女たちにとっては、自分の身体を完璧^{かんぺき}でブランド商品を手にすることが「誇り」なのだろうか。ひとたび手放したものは、そう簡単には取り返すことができない。

かつてこの国に「誇り」が存在したことすら、忘れ去られようとしていると断るのは悲観的に思えるか？

よかな応対をしても罰は当たらないだろうし、何より、歴史ある美しい建物を慈しむ、というデリカシーが、微塵も感じられない。

電話の応対をした人が、どこの部署のどういう立場だったかは分からぬが、少なくとも、ものを創造することを教える最高学府ではないか。

「芸術」が、もはや日本では、抽象概念以外の何物でもなくなりつづがある、ということを痛感する場面は、残念ながら、枚挙に暇がないのである。

数年前、撮影でロサンゼルスを訪れた時、私は信じ難い場面に遭遇した。

撮影の内容は、キヤメラを撮影車に据えて、走りながらロスの繁華街を移動するものだつたが、撮影車の先導を、なんと現役の白人

多過ぎるのである。

創作活動に協力して、できあがめた作品を楽しもう、という心のゆとりがない。

米国は、ヨーロッパ諸国と比較して、自国の文化の歴史が浅いことを恥じ、国家が懸命になつて芸術家を擁護したり、援助を与えたりしている、と聞く。

国の援助がすべてとはいえないが、はたして今、日本でどれほど的人が、自国の芸術の行く末を真剣に慮つているだろうか。

パチンコとカラオケとプロ野球の国になり果ててしまつただろうか。

日本でどれほど的人が、自国の芸術の行く末を真剣に慮つているだろうか。



イガ仕切ってくれるのである。

彼等は非番の警官で、いわばアルバイトなのだが、撮影がスムーズに、かつ安全に運んだことは無論である。彼の地では、映画が産業として成立しているから、このようないが実現するのだということは百も承知だが、クリエーションに対する擁護さ、おおらかさは、学ぶべきではないだろうか。

米国は、ヨーロッパ諸国と比較して、自国の文化の歴史が浅いことを恥じ、国家が懸命になつて芸術家を擁護したり、援助を与えた

とが実現するのだということは百も承知だが、クリエーションに対する擁護さ、おおらかさは、学ぶべきではないだろうか。

日本は、ヨーロッパ諸国と比較して、自国の文化の歴史が浅いことを恥じ、国家が懸命になつて芸術家を擁護したり、援助を与えた

りしている、と聞く。

*1 旧東京音楽学校（現芸大）奏楽堂
日本最古の洋式音楽ホール。1848年に創建され、国の重要文化財指定。東京芸術大学音楽部の前身である東京音楽学校の施設であったが、現在は上野公園内に移築再建され、一般公開されている。堂内のパイオルガンは徳川頼貞侯からの寄贈、舞台はかつて滝廉太郎がピアノを弾き、三浦環がデビューを飾った由緒あるものである。

かつて旧東京音楽学校（現東京藝術大学）の構内にあった奏楽堂^{*}という、明治期に建てられた美しい木造建築のコンサートホールをめぐつて、保存か解体かで、物議が醸された時期があつた。

結果的に保存が決まり、場所を上野公園内に移築され、都の管理のもと、今日その姿をみることもできるし、演奏会会場としても立派に機能している。

先日そこで、あるコンサートが催されたのだが、私の知人が、移築された奏楽堂の場所を知らなかつたため、芸大に電話を掛けたところ、「あの建物は、一切うちどろろの応対をされたそつである。知人は知人で、都の管理に替わつたことを知らなかつた非があるし、芸大側は、散々トライアブルだつたので、たまたま電話に出た人がそういう物言いをしたのであるが、いわれたほうは苦々しい気分になり、「何もあんない」とおもふことをしなくていいのに」とこぼしていた。これだけのことから一概にはいえないが、もう少しふく

者や、無許可のそ

れが後を絶たないという点も考慮に入れなければならないし、安全管理が重要であることも論を待たない。

彼等は助監督諸氏の苦労を目のあたりにしていると、もはやこの国は芸術を必要としているのではないか、という思いにとらわれることがあるのも事実である。

つまり、官僚的発想といわれるものが、何事にも優先する場合が

いだらうし、何より、歴史ある美しい建物を慈しむ、というデリカシーが、微塵も感じられない。

電話の応対をした人が、どこの部署のどういう立場だったかは分からぬが、少なくとも、ものを創造することを教える最高学府ではないか。

「芸術」が、もはや日本では、抽象概念以外の何物でもなくなりつづがある、ということを痛感する場面は、残念ながら、枚挙に暇がないのである。

数年前、撮影でロサンゼルスを訪れた時、私は信じ難い場面に遭遇した。

撮影の内容は、キヤメラを撮影車に据えて、走りながらロスの繁華街を移動するものだつたが、撮影車の先導を、なんと現役の白人

君は抽象概念を語れ

死

■Death■

近頃、やたらと自殺にまつわるニュースに満ちている。不況を反映した中小企業の経営者の自殺、汚職の疑いを受けた政治家の自殺、銀行関係者の自殺、いじめによる自殺、映画監督の自殺、ロック歌手の自殺……。

ことにX—JAPANのメンバーの自殺によるファンの後追い自殺は、さすがに世の大人たちを戸惑わせたに違いない。

かつて明治天皇が崩御された時、学習院院長・乃木希典大将御夫妻が後を追われたが、平成の御代では、若者は、彼らのカリスマの死に自らの命を寄り添わせる。

死は死であり、抽象概念というよりは、極めて切実かつ具体的に我々に降りかかってくるのであるが、医学的な死の基準がどうであれ、死は永遠に謎であり、不可知なものであり続ける。

かつて私が、哲学科の学生だった頃、カントの『純粹理性批判』の中で、スウェーデンボリの靈界旅行のくだりに興じたものであるが、最近でも立花隆の『臨死体験』等、死に関する研究書が人々の注

目を集めている。

改めていうまでもないことだが、古来より、死に関しては大きく二つに分類してきた。すなわち死しても魂は残り、輪廻してゆくのだ、という考え方と、死はすべての消滅であり、つまり一切が滅することなのだ、という考え方だ。

前者は唯心論、宗教の立場であ

り、後者は唯物論の立場である。

奈良薬師寺のかつての管長・橋本凝胤氏は、天動説を唱えられた唯心論者であらせられた。

寺で奉公の真似事をさせていただ

いたことがあつたが、氏の御高説

の一部を拝聴する機会を得たこと

があつた。

「誰も、地球が動いていることを

見たり意識したりしている。した

がつて、動いているのは天のほう

である」というシンプルかつ明快な言葉は、科学的でないことを超越して、私には不思議な説得力をもつて響いた。

「科学を極めると宗教に近づく」ということがよくいわれるが、宇宙も自然も、森羅万象は皆、心の中の象である、という仏教の教えは、科学万能主義に行き詰まりを感じ始めている現代人の深部に、じんわりと浸透し、纏すように思えてならない。

前述の『臨死体験』では、さまざまな実験データの細密な検証のうち、「幽体離脱は脳の幻覚作用の域を出ない」というところに落ち着くのであるが、この結論にどたぶんセンチメンタリストなのだろう。「命あるもの、皆死んだ終わり」という潔さを学ばねばと思いつつも、私は輪廻転生のほうに惹かれてしまう。

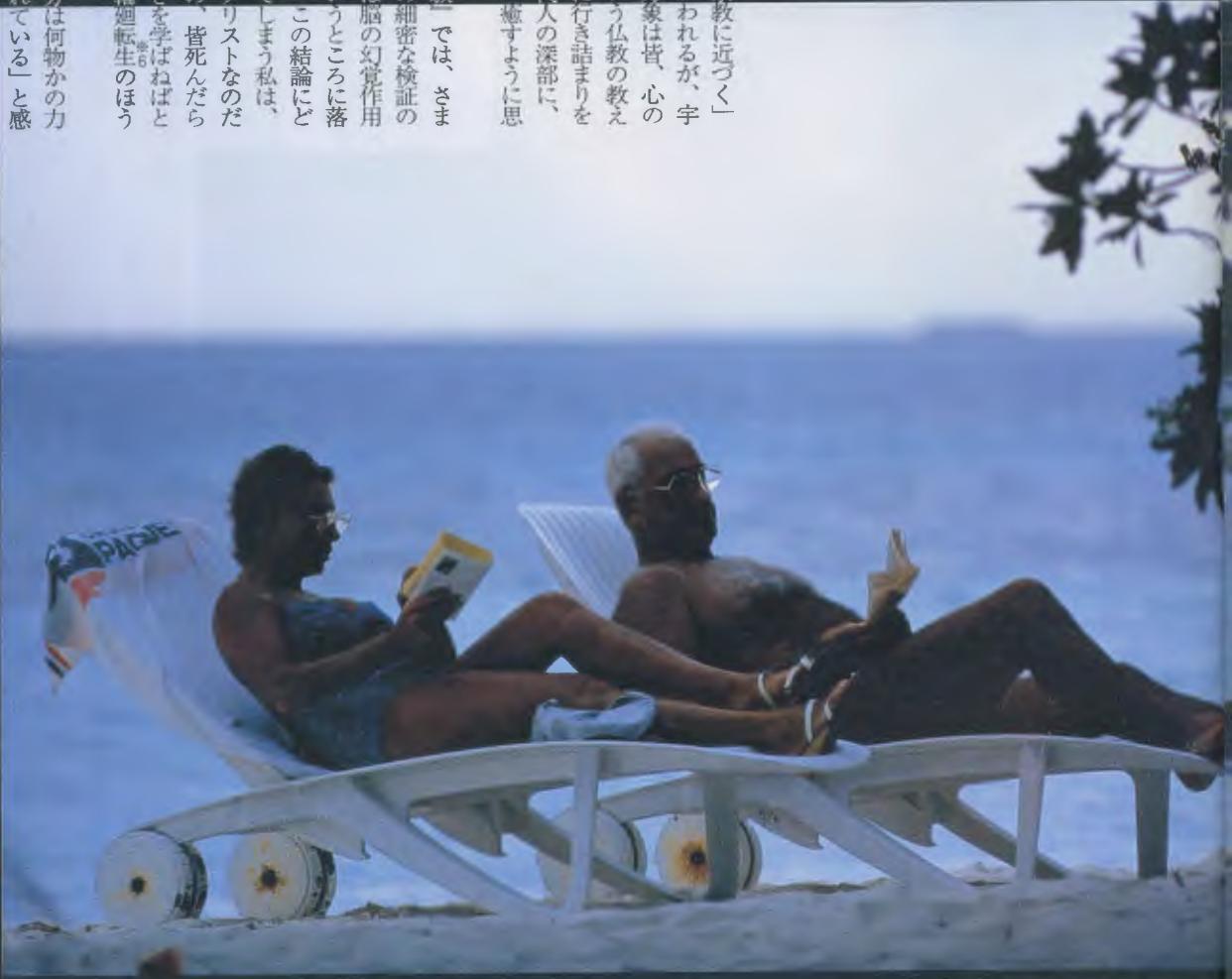
最近とみに、自分は何物かの力によつて「生かされている」と感ずることが多い。

「自分がどこから来て、どこへゆくのか」は、文学、哲学、宗教、科学共通のテーマだが、自分にも確実にやつてくる死を思う時、それは宇宙を動かす超越的意思によるものだ、と了解している。

※1 ドイツの哲学者カントの最初の著書で、1781年刊行される。人間の理性は、感性のア・ブリオリ（先天的）な道德原理を含むものであり、超経験的な世界についての形而上学的認識は、理論理性には到達不可能。従って、実践理性による補完を持たざるを得ない、と結論づけた。

※2 エマヌエル・スウェーデンボリ。1688年～1772年没。哲学者・科学者・神秘家。IQ 200を超える天才と呼ばれる学者として活躍するが、後に靈的覺醒を受けたとして心靈学的研究を進め、神秘論を開拓する。心靈研究として書いた『靈界日記』は死後の世界について詳細に述べ、自ら新教会を展開。多くの信者を集めめた。

※3 万物の究極的存在を非物質的、精神的、生命的なものと考え、物質や非生物的なものは一元的に解釈できるとする哲学的立場。唯物論に対立する。



※4 物質を第一次的、根本的な在り方と考え、精神的、非物質的な在り方を副次的、派生的なものとみなす、哲學的立場。初期ギリシャ哲学に既にこの考え方は現れており、ソクラテス、プラトン以後、マルクス・エンゲルスが弁証法的唯物論を確立。

※5 はしもと・ぎょういん／1897年～1978年没。宗教家、法相宗第126代管長。法相宗大本山薬師寺管主を経て法相宗管長に就任。精力的な行動は、薬師寺の金堂、薬師三尊の修復のほか、世界宗教者和平使節団に加わり核兵器禁止を訴えるなど広範囲にわたる。

※6 仏教およびインド哲学の術語。生命あるもの（衆生）は、死んでもそれで終わりではなく、また生まれ変わって生を繰り返すという思想。

家族

かれこれ七、八年前のことになるが、ドイツの映画監督ヴィム・ヴェンダースの映画のメイキング（撮影プロセスをドキュメンタリとして追いかける）をしたことある。

彼は小津安一郎監督を神のごとく信奉しており、自作の映画『ベルリン・天使の詩』の最後に、「この映画を小津に捧げる」という献辞をしたり、小津映画に関するドキュメンタリーといえる『東京画』の中では、鎌倉にある小津の墓に詣でたり、小津映画のキャメラマンだった原田雄春にインタビューをしたりしている。

小津安一郎は、日本の市井の家族の日常を淡々と見つめながら、その家族のゆるやかな崩壊、喪失を繰り返し描きつづけた映画作家である。ごくありふれた家族を題材にとりながら、しかし、小津の映画が日常性をはるかに超えて、神話的

をはじめ、多くの小津ファンの心をとらえて離さない魅力であり、謎である。

小津映画が神話性を持つ理由を恐れずいえば、そこには、神話的次元での「家族」が存在するからだ、と私は思う。

小津映画に描かれる「家族」では、守るべき清らしさ、ともいってべき「心ばえ」が首尾一貫して持続する。

たとえば、嫁ぐことが決まった娘の、孤独な老父に対するいたわりと愛情、娘を嫁がせる父親の複雑な思いなどが、ほとんど近親相姦ぎりぎりの線まで高まってゆき、のち、いいようのない無常が観る者の胸に迫ってくる。

家族が家族であるための、さまざま「心ばえ」「心馳せ」は、

戦後の日本の家庭から急速に失われた。
核家族化を含む生活様式の変化を外的要因として、ひとつ家族を同じ価値観で括ることができなくなつて久しい。家族を家族たらめていた「聖なるもの」は、もはや存在しない。

でさえあることが、ヴェンダースをはじめ、多くの小津ファンの心をとらえて離さない魅力であり、謎である。

※1 ドイツの映画監督。1945年～。ロードムービー3部作と呼ばれる、「都会のアリスト」、「まわり道」、「さすらい」で若手映画監督として注目を集め。その後フランシス・コッポラに呼ばれて渡米。87年には、「ベルリン・天使の詩」で2度目のカンヌ映画祭グランプリを受賞した。91年東京国際映画祭では「夢の遙てまでも」を出品、ハイビジョン技術を融合させた画期的な映画として話題を呼んだ。

※2 おづ・やすじろう／1903年～1963年没。映画監督、脚本家。松竹キネマ蒲田撮影所にて撮影助手、助監督を経て映画監督となる。63年没するも、70年頃より国内のみならず海外においても再び注目を集め始めている。主な作品として『東京物語』、『早春』、『秋日和』、『秋刀魚の味』等。

※3 夫婦とその子供のみで構成される小家族。意味合いとしてあらゆる家族形態の基本単位という主張を含んでいる。近年日本における家族形態はほとんどがこの種類。

小津映画を觀ることは、もはや存在しない聖なるもの、存在しない家族という神話に触れ、癒しを受けることである。

——家族という神話を喪失した

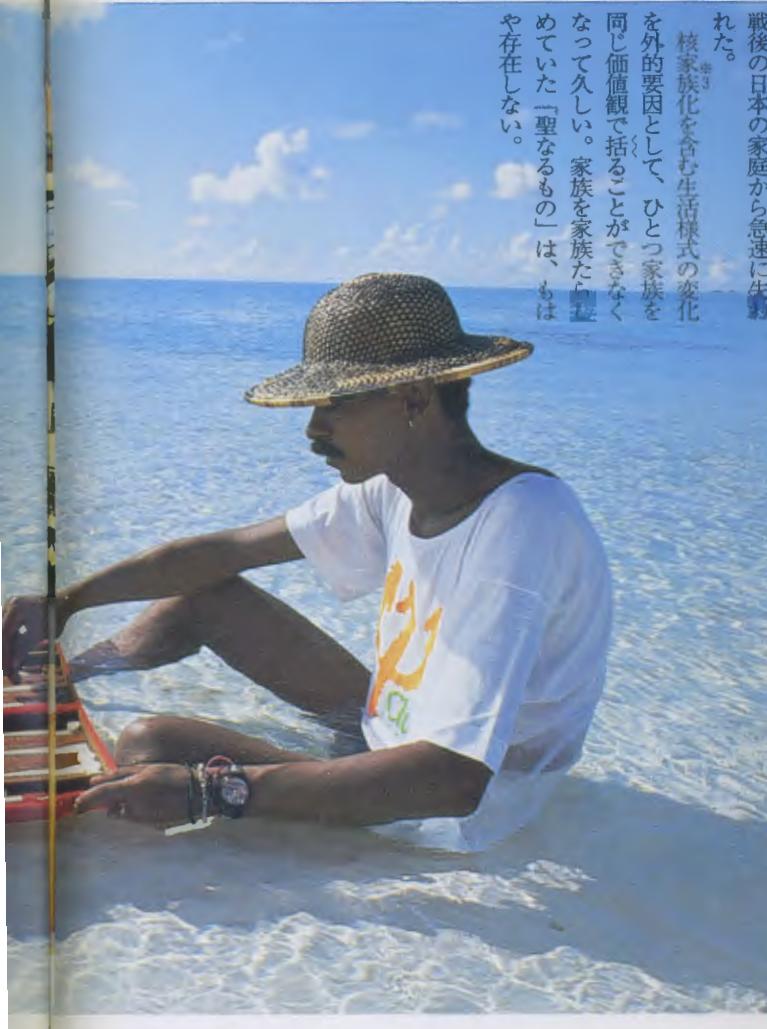
我々は、どこへゆくのか？

前述のヴェンダースの「パリ、テキサス」では、家族を捨てて旅立つた妻が、風呂店のマジックミラーゴシに亭主と対面するが、ものはやふたりは家族として復活する

ことができない。
家族を喪失した者は、個のレベルでさまようしかない。
さまようことを出発点にするしかない。

当時のヴェンダースは、世界中をさまよつて究極のロードムービーを創る、文字通り旅人だった。聞けば彼自身、離婚経験者で、恋人であった女性とともにまいくつていよい様子だった。彼は自作の中で、人の心の内の嘆きを聞くことができる天使を登場させたが、家族を失った者は、ぶつぶつと、ひとり密かに見えない天使に向かって泣き続けるしかないのである。

多かれ少なかれ、我々現代人は荒野をさまよう旅人である。



君よ「抽象概念」を語れ

夢

■Dream■

数年前、室町時代の足利将軍のドラマを監督したことがあった。また最近、必要あつて『源氏物語』の一部を再読した。

これらの時代、「夢」には現実に影響を及ぼす力がある、と考えられていた。「夢」の力とは、「目に見えぬもの」を信じ、恐れることがある。

中世では、死靈のみならず生き靈も登場し、生きている人間にとり憑き、狂わせ、暴れ回る。有名な源氏物語の「葬の上」などその典型である。

また、ヨーロッパ絵画の世界に目を転じても、フューリーの『夢魔』や、ルドンの『夢の中で』、ベックリンの『死の島』など有名な作

※1 源義家の孫義康を祖とする、清和源氏の流れを汲む。足利尊氏の時、後醍醐天皇に対抗して光明天皇を擁立し、室町幕府を開設(南北朝時代)。3代將軍義満の代には南北朝の合一に成功、足利氏が天下を握るところとなる。

※2 紫式部著の、平安時代を代表する物語の主人公・光源氏の本妻。左大臣の娘で、光源氏が元服後政略結婚した。

※3 1741年~1825年没。スイスの画家。ミケランジェロに多大な影響を受け、強迫観念や幻想性を強く表すロマン主義的な作品が多い。『夢魔』はフューリーの名を高めた代表作。

※4 1840年~1916年没。フランスの画家・版画家。もっぱら木炭素描と石版画という、白と黒のみによる独創的な表現で、『夢の中で』は、巨大な眼球が暗闇に浮かび出る『幻』ほか13葉のルドン最初の石版画集である。

※5 1827年~1901年没。スイスの画家。技巧に優れ、色彩感覚にも恵まれていたため、絵画の技法や、構図について種々の実験を試み、油彩、テンペラなど

様々な技法を併用した。『死の島』はベックリンの作品の中でも最も人気のあるもののひとつで、全部で5点のバージョンがあるが、そのうち1点は所在不明。

※6 1997年7月に公開された長編アニメーション映画。監督は宮崎駿。山神をめぐる人間と獣の争いから、獣に育てられた「もののけ姫」少女サンと少年アシタカがそれぞれの信念を見出していくストーリーは、宮崎監督の集大成。入場人員1200万人、配給収入約97億円の日本記録を樹立。

Text by Yoshiko Kaji



品がすぐ思い浮かぶ。「夢」の力とは、意識の闇に意味を与えることである。

意識の闇を駆逐することが、近代理という時代だった、と独断すれば、現代は、ふたたび意識の闇に人々の関心が向いている、といえるのである。

オウムの問題にしても、アニメ『もののけ姫』の大ヒットにして

その授業は、予想実験学習とい

つて、まず生徒に予想をしてさせ、

しかるのちに実験をして、予想が

的中したかどうか、なぜ的中した

かはたまたなぜ的中しなかった

か、を論議する方式だった。

やはり人は、現実原則だけでは生きられないのだろう。

今になってわかった。

その授業には、「夢」があつた

持つことを禁じられたことに対する暴発のように思えてならない。

ここに子供にとって、「夢」はとても重要である。

かつて初等科時代、私は決して

できのいい生徒ではなかつたが、

ある理科の先生の授業だけは面白く、一時的だが成績がグンと上がったことがあった。

同時に氏の若々さにも驚かされ

れた。とうに六十歳を過ぎておら

れるはずであるにもかかわらず、

氏の瞳は輝いており、全身からは

青年の持つエネルギーが発散され

ていたのである。

中世の闇を支配した「夢」も魅

力的だが、人に希望を与える「

夢」は、さらに魅力的である。

のである。

その先生は、我々生徒たちの想像力を喚起し、期待を膨らませたのである。教科書をなぞる学習にうんざりしていた生徒たちは、一気に魅了された。

同時に、その先生自身の魅力も忘れてはならない。

その先生は、いかに生徒の心を掴むか、いかに夢のある授業を実現するか、情熱を傾注しておられたに違いない。

我々生徒は、その先生の夢の力に動かされたのである。

つい二年前、なんとその先生から私の仕事場に電話が入つた。たまたま私の名前をテレビの画面に発見し、連絡をくださつたのである。数日後、お目にかかることができ、私は初等科時代の授業の話を申し上げた。

氏は、何と現在も、別の学校での方式を実行されており、高い評価を得てること、さらに全国の学校や教育機関に、請われて講演を続けておられるなど話を

してくださつた。

三十年経つた今も、氏が教育者として夢を燃やし続けておられることに、私は感動した。

同時に氏の若々さにも驚かされた。とうに六十歳を過ぎておら

れるはずであるにもかかわらず、

氏の瞳は輝いており、全身からは

青年の持つエネルギーが発散され

ていたのである。

中世の闇を支配した「夢」も魅力的だが、人に希望を与える「夢」は、さらに魅力的である。

なぜこの授業が面白かったか、

その授業には、「夢」があつた

経済より人を豊かにするもの
世界遺産に認定された

誌上
夏期
講座

自然と人間の共生 自神山地にみる

自分の自然を大切に——と口ばかりで実行しないのが大人。ところが世界がそれを認めるといっくにわが擁護者へ。そんな浅薄な大人にならないためのカリキュラムです。

6月下旬、セリアオガエルの産卵が見られる。

えりか・走さゆき／1954年、北海道生まれ。
弘前大学にて正木進三教授のもとで動物生物学、行動学を学ぶ。76年卒業後、野生動物
園はじめ自然の世界を、研究と映像出版によ
つて表現する自然生態写真家として広く活動。
82年、青森県芸術文化奨励賞受賞。著書に
「ホシカモシカ」(平凡社)、「日本の動物」
(編著、田文社)、「下北半島のサル」(岩崎書
店)、「自神山地」(朝日新聞社)などがある。
青森市在住。

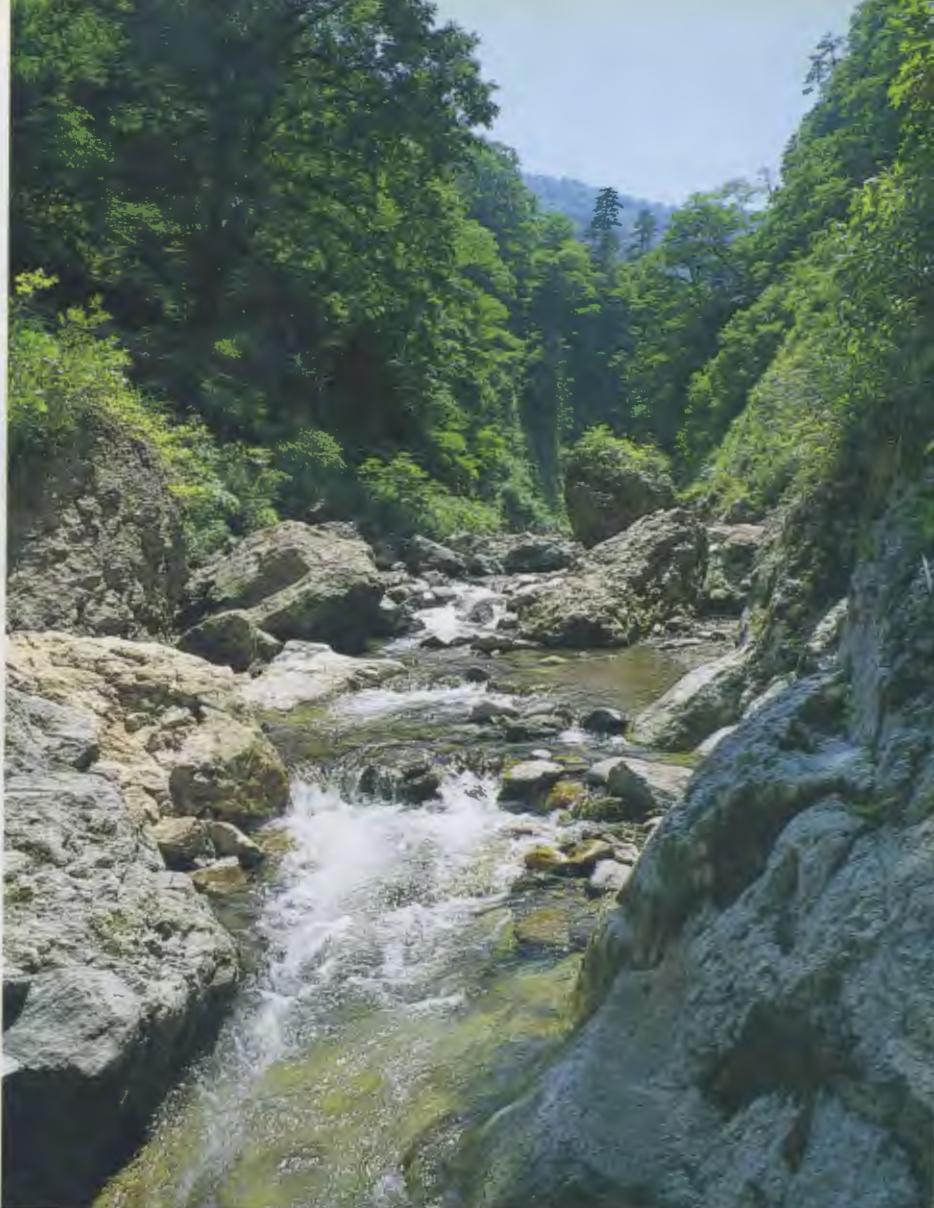
写真と文 江川正幸
Map/Takeshi Higo

初夏の白神山地最高峰、向白神岳(1,243m)を付近の吉ヶ峰から望む。左手には青森県側のブナ原生林樹海が広がり、奥に秋田県側の山が見える。(97年7月6日撮影)

白神山地でのクマガラの繁殖は長い間、幻となっていたが、この10年間、少數ながら観察してきた。(98年5月29日撮影)



左／白神山地は岩木川など大きな川の源流域となり、流れる水は清冽を極める。(93年7月8日撮影)
下／渓谷深く生息するシジミチョウ科のオオゴマシジミ。稀少種。



現

在は世界自然遺産となつている著名な白神山地も、かつて

は青森県と秋田県の県境に広がるだけの無名な秘境の山地だった。今から26年前、私は動物写真家になることを目指し、18歳で北海道小樽市から青森県弘前市に大学進学をきつかけに移住した。弘前市は後背地にリンゴ園が広がり、奥地に白神山地があつたので、私はよく、カエルやサンショウウオなどの撮影に自転車で出かけたものだ。その当時からクマタカが飛んでいたり、トウホクノウサギの子供にも出会つたし、初夏になるとタニウツ

しかし、白神山地の広さは、弘前市南部から、日本海側の西海岸線に至る一帯の約13万ヘクタールであり、当時の私にとってはそのほとんどが、入り込むことのできない鬱蒼とした森の、暗黒山地だった。山間部は弘前市の約2倍の豪雪地であり、そこに住む人々はリンゴ園や水田を営む傍ら、熊

の姿は今日も変わらないが、私が青森県に移住した当时、マタギが熊の刺し身を食べてかかる奇妙な寄生虫病

ギのピンク色の花がにぎやかに咲き、川の中ではカジカガエルの美しい声を聞いた。

生まれ育った北海道とは、一味違う

本州特有の自然のにぎわいと、安らぎがその山ふところにあり、いろいろな花や、生き物たちとの対話を求めて山地の一角に分け入り、自然観察をすることが多くなり、下宿もより山に近いところに引越しした。ヤマセミのよくな美しい鳥の巣を初めて見て感激したのも、この山中だった。



峰の岩場で出会ったムササビ。



左／源流域の花トガクシショウマ。
中／初夏に源流域の岩場に咲く、“白神”の名がつけられたシラカミクワガタ。右／岩場に咲く珍種、アオモリマンテマ。(92年2月2日撮影)



右上／入山は核心部で規制があるが周辺部の登山道は自由に利用できる。これは県境の山頂。ニッ森へ行く登山道。登山道以外へはガイドがつくエコ・ツアーガが必要だが、白神山地そのシステムは未整備。上／山菜を探る人々。左はゼンマイで右はタケノコ。5月中旬～6月中旬がピークだが早春から盛夏までさまざまなものがある。



が発見され、白神山地に暮らすマタギの野人ぶりに驚かされたものだった。マタギの存在は白神山地特有のものではないにしろ、その存在感は大きいを感じた。白神山地での本質を撮影するには、自分自身もマタギにならなければならぬと私は考え続けていた。

山に入つて知る本質

しかし、考え続けるだけでは白神山地の本質をとらえることはできない。かといって、すぐにマタギに会おうとしても他の若者を受け入れるほどマタギの世界は甘くないことは私にもわかつていた。当時は白神山地は「近くの奥深い山」くらいの感覚で、私の本格

的な山歩きと原生林との付き合いは、下北半島の最北の山地からスタートした。サルやカモシカの暮す地でそれ以後、ほぼ10年間は下北の山中で過ごし、私もいつしか道なき原生林歩きのスペシャリストになっていた。

私が弘前大学探検部OB会と共に、初めて本格的に白神の山中で源流探査をしたのは79年のこと。多雪による川の水の豊かさは、単独行では危険極まりない、入山困難な山地であることを改めて痛感させられた。

しかし一方で、中に入つて得られた感動の質の高さには格別なものがあった。それはひと口には説明できないものである。

写真はそのことを言葉ではなく、映像で表現できることが利点だ。樹々の原生的な生命感は言うに及ばず、命のないはずの水、そして石さえも、その中に見えてくるのだった。私自身も1匹のサル、1頭のカモシカになつて周囲の風景を眺める——そんな野生の感覚を呼び起こしててくれる日本で数少ないところが白神山地だ。まだ知られることのないそ

の時代は、保存したくともその技術がなかつたり、財政的に困難であつたりします。そのため1970年の第16回ユネスコ総会後、「普遍的価値を有する記念工作物、建築物および遺跡の国際的保護に関する条約案」が準備されました。世界遺産は文化遺産と自然遺産の2つに大別されます。文化遺産は、(1)独自の芸術的業績と天才的な創造の傑作、(2)時間を越え、世界の文化の中で建築物、記念物、都市計画、造園技術などの発展に大きな影響を及ぼし、(3)失われた文明に無類の、あるいは特別な影響を及ぼしたもの。(4)歴史のある重要な段階を示す構造形式であり、(5)ある文化を代表する伝統的な住居地の顕著な例で、(6)普遍的重要性を持っている概念や信念あるいは出来事に関連し、デザイン、材質、技量、配置の真正さのテストに合格したもの。

また自然遺産は、(1)地球の進化の歴史のある段階を顕著に示しておらず、(2)現在進行中の重要な地質学的过程、生物学的進化、自然環境と人との相互関係を顕著に示していること。(3)すばらしい自然現象や地形、稀にみる自然美的地域を含んでおり、(4)絶滅の恐れのある動植物であって、科学上、保全上の観点から、普遍的な価値のあるものがそこで今も生き延びている、意義深い自然生息地を含むもの。世界的なものとなり、白神山地全体の8分の1に当たる核心部

世界遺産とは

世界遺産は、保存したくともその技術がなかつたり、財政的に困難であつたりします。そのため1970年の第16回ユネスコ総会後、「普遍的価値を有する記念工作物、建築物および遺跡の国際的保護に関する条約案」が準備されました。世界遺産は文化遺産と自然遺産の2つに大別されます。文化遺産は、(1)独自の芸術的業績と天才的な創造の傑作、(2)時間を越え、世界の文化の中で建築物、記念物、都市計画、造園技術などの発展に大きな影響を及ぼし、(3)失われた文明に無類の、あるいは特別な影響を及ぼしたもの。(4)歴史のある重要な段階を示す構造形式であり、(5)ある文化を代表する伝統的な住居地の顕著な例で、(6)普遍的重要性を持っている概念や信念あるいは出来事に関連し、デザイン、材質、技量、配置の真正さのテストに合格したもの。

また自然遺産は、(1)地球の進化の歴史のある段階を顕著に示しておらず、(2)現在進行中の重要な地質学的过程、生物学的進化、自然環境と人との相互関係を顕著に示していること。(3)すばらしい自然現象や地形、稀にみる自然美的地域を含んでおり、(4)絶滅の恐れのある動植物であって、科学上、保全上の観点から、普遍的な価値のあるものがそこで今も生き延びている、意義深い自然生息地を含むもの。

主な世界遺産

自然遺産としてグランドキャニオン国立公園(米)、グレートバリアリーフ(豪)。文化遺産としては、エジプトのピラミッド、中国の万里の長城。複合遺産としてはペルーのマチュピチ遺跡などがあります。

83年秋、私は初めて青森県側西目屋村のマタギと山中へ同行する夢がかなえられた。マタギの名は工藤成元翁。当時60歳近いお年だったが、白神山地の自然保護のために結成された、日本自然保護協会の調査行の案内役をかつて出てくれた。白神山地保存の功労者であり、最後の本物のマタギだった。

前年に発表された、白神山地の青秋林道計画による伐採から、この類い稀なブナの原生林を守ろうと、まず地元から調査し、その自然の貴重さをアピールすることから、保護運動は開始され、私も写真家の立場からその運動をサポートした。

その時にいち早くクマゲラの巣が発見され、その後の観察によって生態も知られるようになって保護運動に大きくなはずとなり、数年後には林道計画が中止されることになった。

その間、いろいろな書きはあつたが、私はこうして四半世紀の間、白神山地の隣に住み、山中奥深くに入つていかなかで、山で生活するさまざまな人々にも出会い、学び、保護を訴えてきた。その結果、世界自然遺産登録された。

マタギの名は工藤成元翁。当時60歳近いお年だったが、白神山地の自然保護のために結成された、日本自然保護協会の調査行の案内役をかつて出てくれた。白神山地保存の功労者であり、最後の本物のマタギだった。

前年に発表された、白神山地の青秋林道計画による伐採から、この類い稀なブナの原生林を守ろうと、まず地元から調査し、その自然の貴重さをアピールすることから、保護運動は開始され、私も写真家の立場からその運動をサポートした。

その時にいち早くクマゲラの巣が発見され、その後の観察によって生態も知られるようになって保護運動に大きくなはずとなり、数年後には林道計画が中止されることになった。

その間、いろいろな書きはあつたが、私はこうして四半世紀の間、白神山地の隣に住み、山中奥深くに入つていかなかで、山で生活するさまざまな人々にも出会い、学び、保護を訴えてきた。その結果、世界自然遺産登録ができた幸運を感じている。

これからも私はこの大自然を専門にする多くの人々に出会い、時には一緒に山に入り、困難をものともしない楽しさやロマンを持ち続けることによって、この壮大な山地の森の本質に、一步でも二歩でも近づくような仕事を発表し続けていきたい。

この生命力の豊かな白神山地は、21世紀の人々に渡すべき、未知の贈り物なのである。



トゥーラン村の、砲弾で破壊されたアパート。



国道沿いで、チーズを売る少女。

ここは、かつて戦場だった――。

日本が初出場を果たした
サッカーW杯フランス大会で
日本の決勝トーナメント進出
の夢を碎いた国。――普通の
人はこれくらいしか知らない。
でも、我々が平和と繁栄を
うんざりするくらい
享受していたのと同じ頃、
ここが戦場だったことを、
どれくらいの人が
知っているのだろう……。

日本が初出場を果たした

広大な墓地の一角に、人が多く集まつてい
た。先の戦争で死んだ若い兵士たちの墓だ。

新鮮な花が飾られ、ローソクが立てられ、初
老の夫婦や兄弟が相寄つて、石や十字架を布
で洗い清めていた。こちらの墓にはどれも写
眞がはめこまれ、生年と没年が彫られている。
イワン・ブランコビッチ、19歳。軍帽をかぶ
った少年の顔写真が笑つている。

この墓地で印象的だったのは、墓石の足
元に、木のベンチが置かれているのを幾つか
見たことだ。遺族が、友が、恋人が、死者を
忘れずに訪ねて座るベンチ……。そこで
石に触れ、石に語り、空を見上げ、木々の風
に吹かれながら、しばし死者に語りかける場
所である。墓地は、死者のためではなく、生

偏狭なナショナリズムと笑うことでもできよ
う。国際空港の玄関先に、身内だけへの応援
はみつともない、とも言える。しかし、かつ
てカーキ色の軍服で統々と外地の戦場に出掛けたことを思えば、今は、いい時代になったのだ、と思いたい。

飛行機をブランクフルトで乗り換え、首都
ザグレブ空港に着いた。「クロアチアがんば
れ!」の横断幕はなかつた。着いた翌日、ま
ず案内されたのが郊外のミロゴイという墓地
だつた。ちょうど5月30日、この国の独立記
念日に当たる。

ザグレブは活気ある首都で、街を歩く限り、
社会や商業の活動も回復したと見受けた。いや、旧ユーゴスラビアから独立し、徹底的な

西欧式・自由化路線を歩む今は、修正社会主義のかつてとは比べようのない明るさと活気を呈している、と言うべきだろ。街の至るところに化粧品やコンピューターなどの「西側」広告があふれていた。クロアチア版「レイボーリー」誌は、どこの新聞スタンドでも売っている。表紙には、サッカーW杯のクロアチアチームのシャツを着た、セミヌードのグラマーな女が笑っている。私が見た、唯一の「サッカー熱」だった。

ここに戦争の跡を探るのは困難だ。雜踏のなかで、建物の角にうすくまつてある少女がいる。片足を折り、伸ばしているはずのもう一方の足は、膝から下がない。切断された面の白さだけが目に焼き付く。布で隠さないで、それをあえて見せて投げ銭を待つ恥ずかしさを選んだ、少女の選択。……首都で見た戦争の傷跡はそれだけだった。

ザグレブの郊外、国道沿いにトゥーランと
いう小さな村がある。「クロアチアのヒロシ
マです」。案内のブランコが言う。砲撃で、
家々の屋根が大きく破壊され、落ちた砲弾で
4階建てのアパートの床が、次々に抜けてい
る様子が今もそのままだ。壁に、無数の弾痕

いしい・しんべい／出版＆映像プロデューサー
1. 1942年大連生まれ。同志社大学卒業。
後、筑摩書房、テレビマンユニオンを経て独立。NTV歌は国境を越えてでギャラクシ
賞受賞。イアン・ブルマ著「戦争の記憶・日
本人とドイツ人(TBSブリタニカ)を翻訳。

き残った者に残された安らぎの場所なのだ。
今やコインロッカーと化した日本の墓は、そ
のまま、そこで生きている日本人のありよう

を反映している、と言えないか？ 私たちは
木々の風よりも、すべてを効率第一で詰め合
がんばれ、日本代表チーム！」

それでも、廢屋の傍らにパラソルが広げら
れ、少女が一人、野菜と果物を売っていた。
道沿いの露店売りは、大抵女性だ。野の花、
自家製のチーズやジャム、蜂蜜などを売って
いた。この女性たちと大地は、生き生きと生
きること、生産することをやめない。それが
この国の希望だ。

首都を遠く離れ、アドリア海の沿岸の街に立つて、戦争を想起するのはむずかしい。ザ
ダール、スプリット、ドゥブロヴニク……こ
れほど美しい街があつたのか、というのが実感だ。街と海の調和、人々の明るさがいい。

歴史ある石畳とエビ茶色の建物がいい。大き
な木陰でくつろげる、オーブン・カフエがい
い。海からの乾いたそよ風をうけながら、カ
プチーノをすすつた。91年、セルビアの軍隊

が、世界遺産にも認定された、歴史ある街を
砲撃して、クロアチア国民の士気をそごうと
した、それほど突出した美しさが、ここには
ある。

美しさの中に傷は隠される。ナショナリズムの高揚の果てに、人は他國の人間を殺すの
だ。19歳のイワンの命も少女の片足も、そうして奪われた。クロアチア国歌の冒頭は「美
しいわが祖国、英雄が生まれる国……」であ
る。成田空港の「がんばれ日本」の情念が、

やがて武器を取らない保証はあるだろうか？

唐突だが、國のためではなく、ノープレス
・オブリージのためならば、血を流したいと
思つた。守るに足る美しさが、この世にはあ
る、それを教えてくれた旅だった。

快適購得

豊かさのできること9

クリスティーナ・ノーブル財団子供基金

キャリア・ウーマンのキャロルがクリスティーナ・ノーブル財団子供基金に見つけた喜び

ベトナムやモンゴルのストリート・チルドレンを救済するために子供基金を設立し、積極的な救済活動を行っているクリスティーナ・ノーブル。そして日本でその支援活動を行っているキャロル・ウォルフソンさんを紹介しよう。

Photographer/Kazuhiko Matsushima Text by Akemi Imamura Cooperation/Lorrain Joyce Reinbold



上／クリスティーナ自身が資金集めに来日した時のスナップ。東京の清泉インターナショナルでキャロルたちは、6ヶ月間で600万円もの基金を集めた。右／『悲しみの向こう岸』(Bridge Across My Sorrows)94年に出版されたクリスティーナ・ノーブルの自伝。



キャロル・ウォルフソンさん
1961年、アメリカのシカゴ生まれ。ノース・エジソン大学でジャーナリズムと経済を専攻。80年中國に渡り、輸出入のビジネスを自ら始める。その後修士号取得。アナリストとしての経験もある。上海、台湾、香港などで16年間仕事を続け、現在、東京でコンサルティング会社を経営している。アイルランド人の夫マイケルと2人暮らし。



赤毛に明るい茶色の目をしたキャロルは、アメリカ人にしてはやや小柄で、歯切れの良い少し早口気味の話し方は、いかにも彼女が有能なビジネス・ウーマンであることを感じさせる。「ママ・チーナ」、「サイゴンの天使」と呼ばれ慕われているクリスティーナ・ノーブル

称賛の言葉より、
子供たちの笑顔が。

比寿にある瀟洒なマンションに、キャロル・ウォルフソンさんを訪ねた。16年間東南アジアの各国で過ごす間に蒐集した趣味の良い骨董品が飾られたリビングルームで、キャロルはクリスティーナ・ノーブル（以下CN）財團子供基金と、その創設者クリスティーナ・ノーブルについて話をしてくれた。

ルの、たっぷりとした体つきや牛の優しい目。そしてのんびりとしたアイルランド訛りとはいかにも対照的である。

アメリカやアジアのビジネスの先端で仕事をし、また現在アイルランド政府産業振興省の日本代表である優しい夫マイケルにも恵まれたキャロル。そんな彼女が語ってくれたクリスティーナの半生や、ベトナムやモンゴルのストリート・チルドレンの現実は、あまりにも暗く重い。キャロルの東京での生活と比べると光と影ほど違う。

信念で愛を貫き通す人。
喜んでそれをサポートする人。
だから、生きる喜びが生まれる。

恵

CHRISTINA NOBLE CHILDREN'S FOUNDATION



病院(下)とその内部(左)。医療センターがホーチミン市に設立されたのが、90年12月24日。週3日無料検診日があり、月600人の子供が診療を受けています。クリスティーナに救われて教育を受け、立派に成長する子供もいるが、死ぬ間際に安らかに死ねるように運び込まれる子供たちが大半である。



ベトナムでのクリスティーナと子供たち。CNN財団子供基金は、長期的医療、栄養改善、教育の機会、職業訓練、就職斡旋、そして経済的・性的搾取からの保護を必要としている子供を救うため91年に創立された国際的な共同基金である。クリスティーナは、虐待によって人間不信になつている子供たちに対しては、決して無理強いはしない。

18歳で英国へ渡ったクリスティーナは、その後結婚して3人の子供をもうけたが、夫の暴力と、それが原因の流産に苦しめられ、精神科で治療を受けるに至った。



この壮絶な子供時代の体験が彼女だけが精一杯だったクリスティーナは、レイプされ妊娠してしまう。この壯絶な子供時代の体験が彼女の運動のルーツとなっている。

CNN財団子供基金の創立者クリスティーナ・ノーブルは1944年アイルランドの首都ダブリンのスラム街に生まれる。父親はアルコール中毒で家庭を顧みず、母親は病死。10歳で孤児院に送られ、14歳でそこを逃げ出し、ダブリンの公園に素手で掘った穴を住処とする。飢えと虐待の中で生き延びる。ただが精一杯だったクリスティーナは、レイプされ妊娠してしまう。この壮絶な子供時代の体験が彼女の運動のルーツとなっている。

苦しんで喘いでいた、その年の年末、クリスティーナは夢を見た。ナパーム弾の炸裂する中を子供たちが逃げまどう。「どうか私を助けて! 無事なところへ連れていって!」と懇願していたの。その時よ、彼女の頭上に真っ白い光が輝きわたり、ベトナムという文字がはつきり見えたのは……」神の啓示ともいえるような夢が現実させた。それから20年近くの歳月を経て、クリスティーナは夢を実現させたのである。

ベトナムに到着した89年、クリスティーナが持っていたのは、子供たちを助けたいという溢れるばかりの熱い思いだけだった。当初のクリスティーナには文字通り、資金も人脈も信用も、何もなくつたのだ。しかし、クリスティーナが活動を開始するや否や、ある石油会社が1万ドルの寄付金を提供してくれ、また彼女自身も資金集めのため、クラブで歌ったり、講演を精力的に行つたりし始めた。現在では多くの寄付金や外国企業からの支援に恵まれるようになつた。90年にはホーチミン市(旧サイゴン)に、捨てられて栄養失調になつた子供たちのための医療センターが、また91年にはCNN財團子供基金が設立され、学校や職業訓練所の開設に寄与している。

幸せとは自分を生かせる場を持つこと。

恵まれた生活を送るキャロルたちが、なぜクリスティーナに魅了され、彼女の活動をこれほど親身に応援するのだろう。キャロルに

CHRISTINA NOBLE CHILDREN'S FOUNDATION



モンゴルの下水（左）と、中で暮らすストリート・チルドレン（上）。モンゴルでは塞さをしのぐために子供たちは下水の中に潜っている。またここはコソ泥を働く子供たちの巣窟ともなっている。1990年以来モンゴルは共産主義から自由主義に変わり、この変化に伴い極度の貧困の増加を招いている。クリスティーナは、今年からこの子供たちの救済や、貧困家庭の子供の教育援助に取り組むことを決めた。そのためにスポンサーを募っている（このスポンサーシップ・プログラムについての詳細はDATA 1をご覧ください）。

直接この活動に入った動機を聞いてみた。
「子供の頃からずっとボランティアをやってきたのよ。地球や人間から与えられた恵みは、貢うばかりではなくて、お返しなければいけないのでないかしら」と彼女はいう。

クリスティーナとの出会いは、91年ベトナムにいた時、夫マイケルが同国人のクリスティーナのことを聞きつけ、夫婦2人で会いに行つたのが始まり。その時は寄付金程度のささやかな援助だった。その後マイケルの転勤により、東京で暮らすようになったキャロルは、CN財団子供基金のための寄付金を集めを思ついたのだ。

キャロルはクリスティーナといふひとりの思いやりのある、独創的で信念を持った女性に出会ったことで、自分たちの善行の場を見つけることができたのである。

子供もいない、絵に描いたようなDINKSの暮らしぶり

のキャロル。しかしクリスティーナは鳴ることで、大人に裏切られ、人を信用することができなくなっている、ベトナムやモンゴルのストリート・チルドレンの心

が、笑顔をひとつでも多く見たいと、募金運動を続けているキャロルの行動は、ノーブレス・オブリジと呼ぶべきものだろう。

クリスティーナの子供たちを助たいという願いは、キャロルとマイケルの現実的な支援によって現実化され、またキャロルの自分の受けた恵みを返したいという望みも、クリスティーナの夢に溢れたアイデアによって崇高なものへと実現化されているのである。

カードを売つた代金が資金源に。

DATA 1

CN財団子供基金では、スポンサーを見つけて、自立できるまで継続的に支援するもの。毎月24ドル（約3000円）の寄付金をお願いしている。有志の方は左記までご連絡ください。

東京都品川区上大崎2-2-18-101
キャロル・ウォルフソン ☎ 03(3280)4284

DATA 2

CN財団子供基金にご支援くださる方は左記の口座にお振り込みください。
シティバンク幕張支店
名義人：CAROL WOLFSON
普通口座／3817318
銀行コード 0401032

Carol Wolfson
Citibank, N.A. Makuhari Branch
Yen Account No.3817318
Bank Code No.0401032



このカードをご購入くださると、その代金がCN財団子供基金の資金の一部になります。彼らにあどけない笑顔が宿りますように…。

「毎日が夏休み」、「毎日が仕事」とどちらともいえる私たち役者の生活。

いけだ・ゆきこ／女優。1970年東京生まれ。平成5年学習院大学文学部哲学科卒業。アメリカ留学を終え、平成2年3月東京グローブ座で初舞台。TV「大家族デカ2」、「緊急治療室の前」、「お嬢様は名探偵」、CMは「明治生命」などに出演。舞台では今夏、劇団☆新感線公演に客演。

皆

さまの中には、役者にも夏休みがあるのだろうか、なんてお思いの方もいらっしゃることでしよう。これがあるといえはある、ないといえないといった感じで、私にもどうお答えしたらいいかわからぬのです。そこで、昔の日記をひっぱり出して、思い出してみることにしてみます。

1990年7月○日 晴れ

今日は私が学習院大学に入つてから初めての夏休み。高校時代と比べると休みのありがたさはいさか薄らいた氣もするけど、やはり嬉しい（アメリカの高校では6月からたっぷり9月まで夏を満喫した私でした）。今日から、6月中旬から始まつた青山劇場「ぼくのシンデレラ」のリハーサルに専念でくる。公演は7月下旬から1ヶ月弱。夏休み中の子供たちが観客の中心となるから「子供向け夏休みミュージカル」と呼ぶ人もいる。が、私としては、子供たましで終わらせたくない。めちゃめちゃ気合入り、帰国してから初のミュージカルに臨むつもりだ。あーどうぞ、風邪などひきませんように。喉かれませんように。

1993年7月○日 雨

大学生活も4年目を迎えて、4回目の夏休み。私が休みに入ったからといって、そう都合よく仕事が舞い込むはずもない。暇な毎日。こんな夏はおとなしく自分を磨くしかないですね。大学もそろそろ終わりなんだから、ちゃんと勉学でもしてみよう（？）。

1994年7月△日 曇り

今、私は舞台「ステッピング・アウト」の地方公演で全国各地を回っている。キャスト10名の小人

数で1ヵ月半の旅公演とくれば、旅も半ばを過ぎると皆、家族による全員で各地のおいしいものを食べ、たまには明け方まで飲んだくれたり、と楽しいことばかりだ。けれど、今回の旅公演で私たちを悩ませたものがある。それは「水不足」。北海道、仙台あたりは問題なかつたが、九州、四国あたりはかなり厳しい。舞台が終わつた後だと、節水時間で水が出なくなつた。福岡の会館の方々は、洗顔用の水を汲み置きしていくだけだ。四国では、地元の讃岐うどんを食べたいと、水不足で営業できないうどん屋の連なる通りを歩いていると、「東京からわざわざ芝居をしに来てくださいたんだから……」と、店を開けてくれ、とびつきりのうどんを出してくれた。人の温かさが不便を越える、いい旅、いい夏だ。

1997年7月○日 梅雨

そういえば、フルタイムの役者になつてからというもの、ロクな夏休みをとつてない。忙しいことは嬉しいことなので、私はまったくかまわないのだが。私の休みは週末や盆暮れ正月とは関係なく（かえつてそんなときこそ忙しかったりする）、仕事の入らないときは休みなので、6月や10月なんて中途半端などきに長期の休みがとれたりもする。今年は4月、5月とテレビドラマの撮影の合間にぬつて休みが多かつたので（多すぎたので）、「こんなときは旅行料金も安いし、ロンドンかニューヨークにでも行つてくるか！」などと計画してみたのだが、やめた。

そんなときに、私のマネージャーさんは仕事やオーディションを見つけてくれるのだ。できるだけ東京にいたいと思う。で、ちまたで東京でレッスンしたり芝居や映画を観たり、というお決まりパターンになつてしまふのだ。それが嫌いじやないんだな。まつたく。

今年の「夏休み」は、舞台。大阪・東京で劇団☆新感線のロックな芝居に出ます。夏の3ヵ月間、

け東京にいたいと思う。で、ちまたでバカンス！ それに専念です。暑い夏にぴったりの舞台になるでしょう。私の生活は毎日仕事ともいえるし、毎日夏休みともいえるんですね。だからなのかな、マネージャーさんと「暇は要らない！」、なんて話してられるのは……といいつつも、今年は行きたい。南の島でバカンス！



Illustration/Yuji Hirayama

*『Vampire Strikes Rock』スケジュール
98年8月27日～31日／大阪道頓堀・中座、9月12日～23日／東京サンシャイン劇場にて。お問い合わせは、ヴィレッヂ電話06(377)5451まで。

人物クローズアップ

池坊保子

(昭38年)
衆議院議員



学習院大学文学部国文科在学中に、
600年の歴史を持つ、130万の弟子を擁する
華道の最大流派・池坊家元45世専永氏と結婚。
旧華族としての気位とリベラルな精神で、
たくましく、情熱的に生きてきた人。

Photographer/Takeo Hayashi



一線記者が見た政治家「池坊保子」の素顔

時事通信社・編集委員

田崎史郎

「私は質問づくりをするのが大好きなんですね。質問づくりを始めるとき、こここの部屋が資料で埋まつて部屋に入つていただけない。日曜日に用がないとき、ベッドの上に資料をいっぱい広げて質問づくりしているのが大好きなの。そう、全部自分でつくるの。つくる過程が楽しいんです」衆院議員、池坊保子は議員会館の部屋で少女のように目をきらきら輝かせながら言つた。

質問を自分でつくるという、一般の人にとって当たり前のことだが、国会では実は当たり前ではない。所属する政党の政務調査会の職員が原案を作成し、それに議員が手を入れて質問する。手慣れた議員になると、国会職員や各省庁の官僚に質問づくりを頼む。池坊の手づくりの質問は一年七ヵ月の間に、衆院本会議を含め二回に及ぶ。

質問づくりにかぎらず、池坊には政治家が醸し出す匂いがない。政治家には自己顯示欲、権力欲が服を着て歩いている風がある。選挙で財産を懸け家族も犠牲にしてようやく闘い取った地位であり、権力を持たなければ自分の構想も実現できない以上、政治の本質がそういう人間性を生み出していると言える。だが、池坊の振る舞いにはその気負いがみえない。「小説家か弁護士、政治家になりたい」という夢を実現する機会は突然やってきた。平成八年（一九九〇）九月二十三日、新進党党首だった小沢一郎（現自由民主党）から京都の新都ホテルで総選挙出馬を要請された。てつたり、大阪一区で選舉準備を進めていた長女の婿、雅史の相談、と思つて会った池坊は、「お任せします」と返事して会談はほんの十分ほどで終わつた。

その後、なんの音沙汰もなく「なかつた話」ということになつてもいい」と思つていたら、公示を四日後に控えた十

月四日、党本部から立候補に必要な書類を至急そろえるよう連絡が入つた。

新進党的比例代表区近畿ブロック名簿一位と知つたのは公示当日、雅史の出陣式でのこと。そして、投票日の二十一日、「代議士池坊保子」が誕生した。雨降るなかを早朝から街頭に立ち、雪の降る日も戸別訪問して手の平が痛くなるほどに何万人もの有権者と握手して、国会議員バッジを手にするという立身出世の物語はどこにもない。

政治家らしくないのは、本人の立ち居振る舞いや性格もある。学習院大学の同窓、農林水産大臣の島村宜伸が、「日本の伝統藝術の家元の奥方だから、一般的の女性が経験しないご苦労もなさつたのだろう。それに家柄もいいとなれば、不愉快な人間性をつくりだしそうなもんだが、そういうところがまつたくない。天真爛漫というか天衣無縫」と語るように池坊はつねに明るく屈託がない。作家・遠藤周作も、池坊に、「あなたは怖いもの知らず。人を疑わないから夜道でも平気で歩いていく」と語つたそうである。だが、池坊が、「私の育つた環境が、どんなことがあっても優雅に毅然と、そして、自分のプライベートな面は見せない方がいい、という家庭だった」と自己分析するとこころを見ると、無意識に自己抑制を働かせているのかもしれない。「らしくない政治家」も、昨年十二月の新進党党首選で政治の渦に巻き込まれた。当初、小沢の推薦人に名を連ねながら、告白直前に「私の名前のところに紙を貼つてください。私はまだ判を捺していませんから」と反旗を翻した。昨年春頃から、小沢の党運営に対する疑問を持ち始める。

「あの方は原理原則を大事になさるというけど、本当は」



上／1996年、新進党（当時）から衆議院議員に当選。翌年11月に開かれた議員総会に出席。右／京都の自宅で花を生ける。池坊学園長から政治家になり、京都には金曜日の夕方に帰り、月曜日の夜か火曜日の朝に東京へ戻るという生活。慌しい東京にいると、京都がすぐに恋しくなるという。



Yasuko Ikenobou

いけのぼう・やすこ／昭和17(1942)年、元子爵・梅溪通虎の三女として東京・松濱に生まれる。学習院大学文学部在学中の昭和38年に、華道池坊45代目家元・専永と結婚。2年後に長女・由紀、さらに4年後に次女・美佳を出産。子育てが一段落する頃から夫の仕事を手伝い始め、財団法人池坊華道会常務理事として華展の企画運営などにあたるほか池坊文化学院院長、池坊学園理事長などを歴任。その後執筆、評論、講演などで活躍。平成8年新進党から衆議院議員選挙に立候補、比例代表区近畿ブロックで1位当選。現在は東京・高輪の議員宿舎住まい。週末に京都の自宅へ帰って5歳のお孫さんの相手をするのが何よりの楽しみとか。



「私は仕事をしなくてはいけない業を持つ女。テレビのメロドラマやウインドウショピングには喜びを見い出せない女」と語る保子さん。東京では次女で秘書を務める美佳さん(右)と議員宿舎住まい。母として、働く女性の先輩として生きた手本を示されている。



『たおやかに華やかに』明窓出版1,300円(税別)／季節毎に美しく変わる京都を背景に折々の所感をつづった最新エッセイ集。娘として、母として、妻として、そして政治家として生きてきた半生が、簡明に表現されている。進取の気風に富み、挑戦する気持ちを忘れない著者の姿勢には、誰もが共感を覚えるはずである。

自分がなさりたい大義名分をおつくりになるのが大変お上手な方だと思つたんです。の方は、人からアドバイスをお受けになるのが嫌いなのよ」と、小沢に手厳しい。質問すると、「共産党」と言われるくらい攻撃的。講演でもアジテーターなんです」と語る側面がちらりとのぞく。党首選で池坊が推した学習院大の同窓、鹿野道彦が小沢に敗れ、いつたんは冷飯を覚悟する。しかし、小沢は新進党を自らの手で叩き割る愚挙を犯し、池坊は新進党に入つて女性局長に抜擢される。もちろん、新進党も池坊に利用価値を見出していることだ。

「時局講演会では全国からひっぱりだこ。人脈も豊かだし、党のイメージを池坊さんに代表してもらっている」代表の神崎武法

創価学会を母体とする新進党平和の幅を広げる役割を、知らず知らずのうちに担つている。

母が皇太子さまのいとこの華族、大学を中退して華道最大流派家元との結婚など、あれこれと話題に事欠かない。世間から批判されたが故に人気が沸き、有名になつたが故に「利用価値」も高まつた。

「世間の尺度ではなく、自分の尺度で生きていくほかないと思つています。人間だれでも、人生に責任をもつのは結局、自分だけですからね。幸い、雑音はあまり気にならないし、回復も早い方です」

池坊は、比例代表選出の弱みで政党から捨てられればおしまいである反面、政党的変遷がこれだけ激しいと、いきなり党首に担がれ大化けしないともかぎらない。どちらに転んでも池坊は、さわやかに振る舞うだろう。「ご機嫌よう」と言つて。(敬称略)

医学

中原英臣

Text by Hideomi Nakahara

なかはら・ひでおみ／1945年東京都生まれ。医学博士。山野美容芸術短期大学教授、早稲田大学講師。ニューヨーク科学アカデミー会員。慈恵会医科大学卒業後、2年間アメリカで「DNAの陰謀」、「進化論が変わる」などがある。

近、環境ホルモンといふ言葉が巷に流れている。環境ホルモンといふのは、私たちの体の中にあるホルモン、とくに性ホルモンと非常に似た作用を持つている化学物質のことである。

発ガン性のある猛毒物質のダイオキシンによる環境汚染が社会問題になつていている。このダイオキシンは発ガン性があるだけでなく、環境ホルモンとしても恐ろしい化学物質である。ダイオキシンのほかにも、殺虫剤として大量に使われたDDT、プラスチックの原料であるビスフェノールA、船底の塗料として使用される有機スズ、カネミ油症を起こしたPVCなど、これらは発ガン性があるだけでなく、環境ホルモンといわれている。

こうした環境ホルモンの多くは女性ホルモンとよく似た働きを持つていて、そのため、男性の精子数の減少や生殖機能の異常などといったいろいろな生殖障害を引き起こすことがあるが、戦後のベビーブームの日本の住宅事情は、今日よりもっとひどかつた。

こうした急速な少子化が進むなか、人間の男性の精子数が減少しているという驚くべき事実が明らかにされた。最初にこの事実に気づいたのは、デンマーク・コペンハーゲン大学のニールス・スカッケベックだつた。

スカッケベックは、この五十年の間に、男性の精子の数が半分近くに減少してしまった、ということを一九九二年に発表した。こうした精子数の減少をもたらした犯人と考えられているのが、環境ホルモンである。

これまで遺伝子という設計図

環境ホルモンの出現は、人類の未来を考える機会だ。

近、環境ホルモンといふ言葉が巷に流れている。環境ホルモンといふのは、私たちの体の中にあるホルモン、とくに性ホルモンと非常に似た作用を持つている化学物質のことである。

現在の日本における最も重要な社会問題の一つは、子供の数が急速に減少していく、少子化と呼ばれる現象である。少子化傾向は厚生省の人口動態統計を見れば一目瞭然である。

一九九六年に生まれた子供は二〇〇六年五十五人と、一八九九年に統計がとられはじめてから最低の数字を示している。一九七三年には、二〇九万人を超える子供が誕生したことを考えると、わずか二十年間に出生数が四〇パーセントも減少してしまったのである。

こうした少子化という現象について、多くの専門家からいろいろな意見が示されてきた。例えば、子供をたくさん産みたくても、住宅事情が許さない、という意見があつた。

こうした急速な少子化が進むなか、人間の男性の精子数が減少しているという驚くべき事実が明らかにされた。最初にこの事実に気づいたのは、デンマーク・コペンハーゲン大学のニールス・スカッケベックだつた。

環境ホルモンによる汚染には、「量」「質」「スピード」という三つの問題がある。環境ホルモンは一定の量を超えると人体に影響を与えるために、環境中に放出される環境ホルモンの「量」が問題になる。

また、人工的に合成された化学

がすべての生命活動を支配していると考えられてきたが、環境ホルモンの登場によって、この考えに疑問が投げかけられた。

どんなにすばらしいビルの設計図があつても、実際にビルを建てる手順が大切になる。もしもビルを建てる工事の手順を間違えたら大変なことになる。

電話線や水道管を設置する前に壁を塗つてしまつたら、電話も通じないし、風呂に入ることもできない。いくらすばらしい設計図があつても、ビルを建てるという作業の手順がスムーズにいかないとビルは完成しない。このことからわかるように、作業の手順は設計図に負けないくらい重要なことになる。環境ホルモンは工事の手順を狂わすための手順がホルモンである。環境ホルモンは工事の手順を狂わす

人間の体内でこうした手順を決めているのがホルモンである。環境ホルモンは、胎児の成長を狂わせ、生産機能の成長に大きな影響を与える。

私たちが住んでいる地球が汚染されることによって、人類が生存できなくなってしまう可能性を秘めている地球環境問題も大変なことだが、私たちが子孫を作れなくなりてしまうかもしれない危険性をもつた環境ホルモンによる汚染も、人類の未来にとって重大な脅威となる。

こうした急速な少子化が進むなか、人間の男性の精子数が減少しているという驚くべき事実が明らかにされた。最初にこの事実に気づいたのは、デンマーク・コペンハーゲン大学のニールス・スカッケベックだつた。

環境ホルモンによる汚染には、「量」「質」「スピード」という三つの問題がある。環境ホルモンは一定の量を超えると人体に影響を与えるために、環境中に放出される環境ホルモンの「量」が問題になる。

物質である環境ホルモンは、自然界に存在する天然の化学物質とは「質」がまったく違う。人類はこれまでに一〇〇〇万種類を超える化学物質を合成し、八万種類の人

工の化学物質を利用している。さらに、環境ホルモンとなる化

学物質が使用されはじめたことは、わずか数十年前のことだったことを考えると、便利な化学物質が短い間に急速に普及していく驚異的な「スピード」にも問題がある。

環境ホルモンによる精子数の減少や生殖機能の異常は、人類が便利と清潔を追求するために創り出した人工の化学物質が引き起こしたものと文明病といえる。

そのことはDDTの使われ方に

ついでみてみるとよくわかる。ドイツのミュラーによって発見されたDDTは、奇跡的な農薬として登場した。DDTは農薬としてだけなく、赤痢やマラリアといつた伝染病を媒介するカやハエなどを駆除にも使われ、多くの人命が救われた。

一九四〇年にマラリアを媒介するネッタイシマカの撲滅運動をスタートしたスリランカでは、人口三四人から二三人へと三分の一も減少してしまった。このように医療でも人類の健康と伝染病の予防に貢献したDDTを発見したミュラーは、一九四八年にノーベル医学賞を受賞した。

こうしたDDTの神話も、やがて崩壊することになる。一九六五年に貢献したDDTを発見したミュラーは、一九四八年にノーベル医学賞を受賞した。

DDTが開発された時、DDTの危険性には誰も気がつかなかつた。そして、いまDDTが環境ホルモンであることが判明しても、現在の科学技術では、残念ながら何もできない。



Illustration/Yuji Hirayama

オブリージ・エッセンス

AIR MAIL

vol.3
From Helsinki
FINLAND

国際結婚をした卒業生から混迷する日本に送るメッセージ

芬蘭の森と湖の國。と
聞いただけで、豊かな自然や静か
な生活が思い浮かびます。世界は
狭くなつたとはいえ、遙か遠い國
フィンランドの人々の暮らしにつ
いては意外に知られていません。

そこで今回は昭和54年に学習院
女子短大を卒業して銀行、放送局
に勤務した後、當時東大で博士号
を取得するため日本に滞在してい

り、アジアの歴史・文化を研究す
ることと約10年に及ぶ海外生活
を送りました。デンマークに2年
半、中国に1年半、その間フィン
ランドには通算6年滞在し、2年



ライティネン・朱実さんの場合

(昭54短人)

ライティネン・あけみ／旧姓、荻野朱実。1958年東京生まれ。学習院女子短大人文科学を卒業後、銀行、放送局に勤務。1985年フィンランド人と結婚。一男一女の母。10年の海外生活の後、2年前から家族と共に日本に滞在。

フィンランド。森と湖の國。と
聞いただけで、豊かな自然や静か
な生活が思い浮かびます。世界は
狭くなつたとはいえ、遙か遠い國
フィンランドの人々の暮らしにつ

たフィンランド人と結婚されたラ
イティネン・朱実（旧姓・荻野朱
実）さんに登場していただきます。
ライティネンさんは結婚後1年
でフィンランドのヘルシンキに渡

前から外交官として勤務するご主
人と日本で暮らしています。

「日本に住むのは10年ぶりです。
日々帰つて來ていたので、それほ
どショックはありませんでしたが

住んでみると何だかいつも時間が
足りないんです。日本になると何
をしても時間が足りないと感じる
のは不思議です」

同感です。本来便利な生活とは
ゆとりを生む生活のはずなのに、
便利になるほどに忙しくなるのは
勤勉で忙し好きの日本人の性分ゆ
えでしょうか。

「のんびりしていましたよ。特に
夏は1ヵ月間休暇をとつて湖の岸
辺のセカンドハウスで過ごすんで
す。何もしないでのんびりと。ガ
スも電気もないハウスで畠仕事を
したり釣りをしたりして……」

「何もしない。これこそ最高に贅
沢な休暇ではありませんか。命の
洗濯をして、再び厳しい日常を続
けていく英気が養われそうです。
フィンランドで3年半の間、子
供を保育園に預けて大学生として
フィンランド語を学んだライティ
ネンさん。日本の学生生活はどう

日本の生活や常識をそのまま
海外に持ち込む日本人は、無防備で非常識です。

独立心旺盛な学生たち。
フィンランドの首都ヘルシンキ
は人口約52万。小さな港のある静
かな町。冬は12月から3月まで雪
に覆われ、町中にクロスカントリ
ーのコースができ、仕事帰りの人
人が照明付きのコースを散歩代わ
りに楽しめます。昼間は空き地に
木をまけば、たちまちスケートトリ
ングができるばかり、ホッケーやソ



1993年12月。フィンランド。
ロバニエミ近郊の動物園で。長男
アキ君。長女ミンナちゃん。

Illustration/Fumie Wada
Text by Emiko Yoshida

AIR MAIL

From Helsinki FINLAND



96年3月、ヘルシンキの友人宅での家族写真。左から朱実さん、ミンナちゃん、アキ君、ご主人のカウコさん。



94年11月。ヘルシンキの自宅前で撮影。クリスマスカード用に2人の子供

る前に社会経験を積んでいる人が多いからだと思います。高校卒業後、職業学校や専門学校へ行つて働いてから大学に来る人や、10ヶ月の兵役を行つた後、目的がつて大学に来る人が多いようです」

「本来大学とは、どうしても学びたいことがあって、社会に出でからそれを役立てる目的を持つて行く所のはずです。

「フィンランドの学生は、経済的にも精神的にも自立していく驚きました。男も女も18歳になると家を出ます。学生結婚して、子供を保育園に預けながら勉強する夫婦も多いですね。学生は政府から奨学金をもらい、アルバイトで生活費を稼ぎながら勉強するのが普通です。銀行から教育ローンを借り、働いてから返す人もいますよ」

自分で働いたお金で勉強する。となれば、よほど明確な目的意識がなければ続かないのです。

「何のために勉強しているか、皆わかっていますね。それは大学に入

る前に社会経験を積んでいる人が多いからだと思います。高校卒業後、職業学校や専門学校へ行つて働いてから大学に来る人や、10ヶ月の兵役を行つた後、目的がつて大学に来る人が多いようです」

「本来大学とは、どうしても学びたいことがあって、社会に出でからそれを役立てる目的を持つて行く所のはずです。

ところが日本の大学は、「レジヤー大学」と批判する声もあるよう、4年間を娯楽と人生の息抜きに費やす学生も少なくあります。そこには、小さい頃から始まる厳しい受験戦争と、社会に出たが最後、会社人間となつて働き続ん。そこには、小さい頃から始ま

る厳しい受験戦争と、社会に出たが最後、会社人間となつて働き続ん。そこには、小さい頃から始ま

職業を念頭に置き学ぶ

ライティネンさんは2人の子供を

「日本では、大学を卒業して企業

に入つてしまえば、もうその中で

どうするかしか考えていないと思

うんです。たとえ途中でほかのこ

とがしたくなつても、容易にはす

れられない何かがありますよね」

日本では昨今、画的教育制

度の見直しや、終身雇用制度の見

直しが徐々にされ

てはいるもの

の

も

は

や

小

手

先

の

変

化

が

悪

い

と

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

う

い

スポーツ

佐々木明子 (平4文)

Text by Akiko Sasaki

ささき・あきこ／平成4年学習院大学文学部英米文学科卒業。在学中はラクロスに熱中し、日本代表にも選ばれた。現在テレビ東京のキャスターとして「スポーツTODAY」ほか、「丸山茂樹のゴルフの旋風」、「対決! MY BEST 10」などの番組を担当。

スポーツキャスターも人間。 鳥肌が立つような経験もある。

スポーツキャスターとしての初仕事はサッカー番組だった。ちょうどJリーグが発足したあの熱狂的なブームの時だ。中継も担当したのでヴェルディやアントラーズなど人気チームの選手にインタビューすることもあるのだが、当時は取材現場に女性がいるほうが珍しく、新聞記者の囲みにまじってユーモアがある。でも、新聞記者の囲みにまじって

わけもわからずコメントを拾い、グラウンドに通う日が続いた。

でも、石の上にも三年」とはよ

くいつたもので、足繁く通ううち

に存在を認めってくれ、「よく来て

るね」と声をかけてくれるように

なった。カズ選手に「現場に来な

い人のほうが多いのに偉いよね」

と笑顔でいわれた時は、飛び上がるほど嬉しかったことを覚えてい

る。実は選手たちはよく見ている

のだ。あの長嶋監督もみんなに記

者に囲まれていて、誰が来て

いるかはしつかりチェックしてい

て、「佐々木さんは昨日ブルーのシ

ヤツを着てたね。知つてますよ」

ですって。逆に「久しぶりだね」

と突っ込まれることもある。

だからこそ自分でも、できるだ

け実際に取材して見て聞いたこと

をコメントしたいと常に思っていた。ちようど5年前のW杯ア

ジア最終予選時は、今と同様大

変な盛り上がりで、成田出発を取り

た。ちようど5年前のW杯ア

ジア最終予選時は、今と同様大

変な盛り上がりで、成田出発を取り

た。ちようど5年前



第1回の催しは「島村宣伸農林水産大臣を囲む懇親会」

設立の目的と 委員会のプロフィール。

櫻友クラブ運営委員会は、桜友会理事会の承認を経て選任された

運営委員によって構成され、クラブ施設となつた赤坂プリンスホテル旧館1階の「櫻友クラブ」の積極的活用などを目的に設立されたものです。

運営委員会の構成メンバーは、

委員長／田中雄平(昭和20高) 桜友

会副会長、副委員長／犬養康彦(昭

27政) 桜友会副会長、中條高徳(昭

27政) 委員／香取純一(昭50政)

桜友会事務局長、田中鐵男(昭31

よしえ・たかのぶ／1950年群馬県生まれ。昭和50年学習院大学文学部フランス文学科卒業。76弘済出版社入社。月刊旅行雑誌『旅の手帖』編集長を経て、現在、月刊首都圏情報誌『散歩の達人』編集長。
当日は、桜友会初の女性国会議員である池坊保子衆議院議員ほか、クラブ会員約40名が参集し、なごやかな雰囲気の中で、同窓の絆を再確認し、親睦の輪を広げる有意義な会となりました。

（政）、村上智也（昭31政）、上田洋子（昭32短）池田浩規（昭33政）、桑原啓子（昭33政）、矢野坦（昭34伝）、松下武義（昭35政）、大石智一（昭55経）の各氏。

去る5月19日には、運営委員会設立後第1回の催しとして、「櫻友クラブ」クラブラウンジにおいて「島村宣伸農林水産大臣を囲む懇親会」が開催されました。

このたび、新設された 櫻友クラブ 運営委員会 にご注目ください。

取材・文／吉江隆信

赤坂プリンスホテル旧館1階に開設されたクラブラウンジと会議室からなるクラブ会員の交流拠点「櫻友クラブ」の運営委員会がこのたび設立されました。運営委員会では、由緒あるこのクラブ施設を舞台に様々な催しを開催する予定です。ご期待ください。



Photographer/Takanobu Yoshi
Text by Takanobu Yoshi

島村宣伸農林水産大臣・講演会

日本および日本人論を聞く。

家庭教育、集団教育の 重要性をもう一度。

若葉が鮮やかな気持ちのよい季節、平成10年5月19日午後6時より、村上智也櫻友クラブ委員長の一聲で講演会は幕を開けました。

島村大臣の到着に先立ち、国際的に活躍するピアニスト徳江陽子さんが紹介され、ピアノ演奏を披露。坂プリンスホテル旧館の一室に響きわたりました。引き続きスポーツ番組を担当するテレビ東京キャスター・佐々木明子さんによる飛び入りスピーチなどがあり、会場の空気が一層なごんだところで、メインゲストである島村大臣の登場となりました。

農林水産大臣という要職に就かれ、精力的に政治活動を行つておられる大臣は、リラックスした話しぶりながら、辛口タッチで、行く先不透明な平成の日本精神文化論を展開されました。

今日の状況から振り返つて、戦前

の日本には、国家にも個人にも困難を克服する團結心があつたこと

と、さらには、国民一人ひとりに社会を構成する個人としての自覚や、事にあたつて何をなすべきかという個々の役割が身についていたことをまず指摘し、今日の日本および日本人が直面している精神の危機について、家庭教育や社会教育の重要性を中心にして論じられました。その中で、戦前の大家族制度による家庭教育や地域社会で

の社会教育といった集団教育の場が、戦後、特に高度経済成長時代を通じて、核家族化、地域社会の崩壊という現象を生んだ結果、急速に減少していったことが問題であり、早急に対策を構するべきときが来ているという考えを強調されました。

また、最近の少子化傾向にもふれ、平成9年度のデータによれば、女性1人当たりの出産率が1・43人で、100年後の日本の人口は現在の半分を切つてしまつことが確実視されていることを指摘し、今日、国民はもう一度、国家や社会を支える家族について、責任と義務を伴う個人のあり方について見直すべきであると訴え、30分ほどの講演を終えました。

島村大臣の講演に聞き入る参会者。時折まじえるユーモラスな話しぶりに、大臣の気さくなお人柄がうかがえました。



島村宣伸さん
しまむら・よしのぶ／1934年東京・江戸川区生まれ。昭和31年学習院大学政治学科卒業。日本石油勤務の後、中曾根康弘氏秘書を経て76年衆議院議員初当選。95年文部大臣として初入閣。97年より農林水産大臣。当選7回(東京16区)。



OGピアニストの演奏も

①徳江陽子さんによるピアノ演奏が講演会に花を添えました。演目はショパンの幻想即興曲4番とノクターン。懇親会でも演奏を披露。

OGキャスターが飛び入り

②テレビ東京の佐々木明子さんの飛び入りスピーチは長野オリンピックでのエピソード。ジャンプ競技での取材裏話をお話しいただきました。

お出迎えの櫻友クラブ委員長

③村上智也櫻友クラブ委員長の一聲で講演会がスタート。リラックスした雰囲気づくりに、委員長自ら大活躍されました。

なーじやかに同窓の話の輪が。

島村宣伸農林水産大臣による講演後、会場は約40名の参会者が

なーじやかに歓談する懇親の場とな

りました。飲み物のグラスを片手

に、大臣のスピーチ内容について改めて語りあつたり、旧交を温め

たり、近況報告などをしあう光景

がクラスラウンジのあちこちで見

られ、やや張りつめた講演会の雰

囲気から一転、同窓会らしい華や

いだ空気が流れはじめました。

「囲む会」の主役である島村大臣

もすっかりくつろがれ、ざつくば

らんなお人柄そのもので、学習院

時代の野球部での話をはじめ、学

生生活の思い出話をユーモアたつ

ぱりに披露されました。大臣の話

しぶりは、国政の重責を担う人物

笑顔があふれる会場は、同窓の絆を改めて実感する場所。

卒業年次が違つても、果立つたところは同じ学習院。学生時代の思い出話が

飲み物の力も手伝つて、会場のあちこちで花を咲かせていました。

昔を懐かしみ、今を確認しあう同窓の集いを、これからも

大切にしていきたいと、問わず語りにうなずきあつた一夜でした。

がまぎれもなく学習院の同窓生で

あることを実感させ、こうした懇

親の場の意義を参会者一同で確認

しあう一夜となりました。

飲み物が進むにつれて、会はさ

らに盛り上がり、島村大臣を囲む

記念撮影などをするうちに、名残

を惜しみながらのお開きとなりま

した。

INF.

「桜友クラブ」で会いましょう。

赤坂プリンスホテル旧館1階の「桜友クラブ」ラウンジ（約40名）および会議室（約15名）は桜友クラブ会員なら誰でも利用できる施設です。今回開催された第1回懇親会に引き続き第2回は6月16日に島津久厚学習院院長を迎え、同様の会を催しました。以後運営委員会では様々な会を企画していく予定ですが、催しについてのご提案も大歓迎です。お問い合わせは、桜友会事務局☎03(3988)3288へ。

- ①学習院同窓会らしくエレガントな装いで。②桜友会初の女性国会議員として活躍されている池坊保子さんも。③ピアノ演奏を披露された徳江陽子さんと記念の1枚。④この日の主役の島村大臣を囲んで。⑤同窓生との一夜の思い出に。⑥田中鐵男氏（右）の姿も。⑦矢野坦氏の顔も。⑧若き日の話に花が咲く。⑨同じ学習院で育った人間が集う場がここにある。⑩カルティエジャパンの吾妻綾子さん。



10



2

1



3



5

4



7

6



9

8



特集

海外帰国子女は日本を変えられるか？

国際文化交流学部を擁し、この春スタートした学習院女子大学にみる国際化時代の教育の果たす役割

この春、新しい歴史をスタートさせた

学習院女子大学。国際化時代に適応できる大学ならではの学生による閉塞感に覆われた日本お助け企画。

図書館は完璧な管理と保管

学習院女子大学のキャンパスは、学習院女子短期大学のキャバスを受け継ぎ、充実した施設を有しています。なかでも特筆すべきは、昭和57年に新築され、日本図書館協会建築賞を受賞した図書館です。自然光が溢れる快適な空間は、学習内外の文献を探し出すことができます。

言えるでしょ。



このページの他の写真は、図書館内部。雑誌の種類も多く、約1200種類を所蔵。資料はパソコン検索と完璧に整理されたカード目録で。図書館司書課程を設ける女子大学だけに、図書の管理は見事のひと言。

上／学習院の歴史を物語る鉄門に、「学習院女子大学」の新しい文字が。中／女子大学のキャンパスは女子短大から受け継いだもの。今、ここには短大生と女子大学の1年生が。下／互教会館内の広い学生食堂。





“出る杭は打たれる”日本。
能力を伸ばし、個性を尊重する
海外で生活した帰国子女たちに
一石を投じてもらうべく、
ここに、辛辣な意見を
述べてもらいます。



座談会／帰国子女のみた世界と日本

“みんなが同じ”社会に、オブジエクション！

●座談会の出席者（国際コミュニケーション学科1年）

鴨下玲子さん

勝田智世さん

井川光恵さん

小倉洋子さん

●司会 前田佳子さん（平5政）

受験に追われる 高校生活に疑問を。

司会 今日は4人の方に集まつていただきました。みなさん、それぞれ違う国にいらして、いろいろなお話がうかがえそうですね。それぞれ、どんな理由で、どちらの国に行かれたのですか。

小倉 私は日本の高校に入学し、2年生の夏休みにアメリカ、メイン州の現地校に編入しました。私が日本で行つた高校は、私の理解を超えるような規則がたくさんありました。それに、テストに向かって勉強ばかりする高校でした。そんなふうな形で高校を卒業して、O/Lになつて、普通に結婚するのは嫌だな、と思つたんです。

鴨下 今知つたのですが、実は私も小倉さんと同じ高校、同じ学年でした。大きな学校だったので、當時は知らなかつたんですけど。

勝田 私の場合は、父がアルゼンチンに海外赴任したためです。両親は、日本に残りたいなら残つていいと言ってくれたのですが、私自身も行きたいと思いました。

高校は勉強、勉強と言うだけで、気がつけば私もテストのことしか頭になかつたんですね。そんな人生をえてみたいという気持ちがあつたんです。

司会 井川さんは、香港やスイス

と勝田さんは、お父さまの仕事の関係からですよね。

井川 私は父の仕事の関係で香港で生まれ、その後日本で暮らして、また中学生のときには香港に移りました。そこで、両親が兄と私を送りました。そこで、両親が兄と私をスイス、ジュネーブのインターナショナル・スクールに入ることに決めたんです。

社会や企業が変われば
学歴社会も変わる？

司会 こうやつてうかがつてみると、日本の高校教育には大きな問題があるようですね。このような教育制度に納得できない方はほかにもいらっしゃると思います。み



今も上品に佇む赤煉瓦の校舎。

なさんはこのような教育制度の原因は、何だと思われますか。

小倉 親と社会じゃないですか。親が古い考えを持っていて、高学歴なら収入もよくなつて、いい人生を送れると思っているんですよ。

鴨下 社会だよね。

全貢 そう、社会システムだね。

鴨下 私はオーストラリアで、楽しいことをいっぱいしたし、同時に勉強もかなりしました。でも、日本では、勉強と楽しむということを同時にできないんですよね。

勝田 結局、いい企業に行くといふことは、いい企業に入るためですよね。企業が変わらなければ、何も変わらないと思いますよ。

小倉 政治が変わらなければ、企業も変わらないんじゃないですか。

全貢 そうかもしれないね。

司会 皆さん、今の日本の教育の原因が社会や企業にあると考えるようになつたのは、やはり海外で教育を受けてからですか。

小倉 小さいときから塾に行かされ、受験勉強を意識させられてきましたけど、社会の構造にハッキ



鴨下玲子さん
昭和53年生まれ。高2の秋、オーストラリア、私立Billanook Collegeに編入。帰国前には、現地の大学にも合格。



勝田智世さん
昭和52年生まれ。高校2年終了後、アルゼンチン、Asociacion Escuelas Lincolnに編入。2年2ヶ月滞在。

り気づいたのはアメリカのシステムを見てからですね。「これこそが普通じゃないか」って。

鴨下 実は、私たちの高校は、辞めて海外留学をすると言うと、執拗に止められるんです。半年前に辞めると言つて、先生たちに説得され、結局留学を断念した生徒がいるという話を聞いて、私は1ヵ月前に言いました。先生たちはものすごく怒つてしましましたけどね。

小倉 私は2ヵ月前に辞めると言つたんです。そしたら母親同伴で個室に呼ばれて、「大学から留学すればいいじゃないか」とどしづこく止められました。

司会 どうしてそんなに執拗に説得するんですか。

鴨下 中途退学して留学する生徒が多ければ、それだけ学校に問題があるからじゃないかと評価されるらしいんです。結局、先生たちは、個々の生徒の夢や将来ではなく、世間体だけを気にしているんです。だから、大きくなつてから、日本と外国人の大きな違いは、学歴社会か実力社会か、ですよ。海外では、世間

体は気にしない。学校の名前より、本人がどれだけやつたかが評価されるんです。

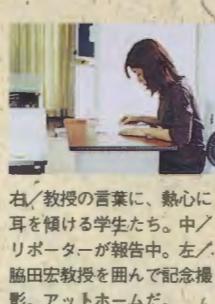
勝田 アルゼンチンも同じです。実力主義ですね。

鴨下 司会では、実際の教育の現場はどうだったんでしょう。現在の学習院女子大学での授業の印象も交え、海外の授業や先生のことを、もう少し話していただけますか。

鴨下 日本の授業は受け身ですよ。オーストラリアでは、生徒が「つまらない」と言うと、先生は授業をどう変えるべきか考るんです。あれには感動しました。

司会 一人ひとりの能力を開発していくような授業が考えられていくんでしょうね。

鴨下 そう思います。たとえば、オーストラリアでは幼稚園でさえコンピューターを使える環境にあります。だから、大きくなつてから、日本と外国人の大きな違いは、学歴社会か実力社会か、です。海外では、世間



多岐にわたる知識を育む。

国際文化交流学部は2つの学科で構成されています。そのひとつが国際コミュニケーション学科。この学科の目的は国際関係、国際機関、地域文化などについて学びながら、国際コミュニケーション能力を高めることです。そのためには、政治や法律から社会・人文科学系まで、国際関係に基づいて総合的に学ばなければなりません。今回拝見したのは、脇田宏教授による「国際コミュニケーション基礎演習ⅠG」です。副題は「地球環境問題の認識」。この日の授業は事前に決められたテーマは関し、特定の学生が資料を作成し、司会を立てて発表する形をとつて進められました。発表が終わると質疑応答に移るのですが、みなさん、わりと控えめ。脇田先生は、質問がなければ司会者が質問を考えること、リポーターの話の適度な速度、出席者が司会者を助けること、と指摘しています。また、リポートで取り上げた事象が、人間生活にどう影響するのかを考えさせます。こうして、学生は国際コミュニケーションに必要な事項を身につけていきます。

カリキュラム

拝見

学習院女子大学

ひとつの事象に対する

認識は、育った国や環境で異なります。女子大学は、異国の文化と日本の文化の両方を同時に学べます。

なつてからコンピューター教室に通つてゐるじゃないですか。それでは遅すぎますよね。

井川 手が動かないよ。(笑)。

全員 そうだよね。(笑)。

井川 日本の教師は自分たちを偉いと思つていますよね。授業料は私たちが払つているのに。海外では先生も生徒も対等なんですね。

鶴下 距離が近いよね。親に恋愛のことと言えなくとも、先生には相談している子もいました。

小倉 向こうの授業で好きだったのは、少人数制でのディスカッショングが多かつたことです。このクラスで先生を身近に感じるようになりました。

勝田 日本では、先生は「自分は教えているんだ」という上から見下ろすような立場ですよね。でも、海外では対等で、先生が間違えたときは「間違ってる」とさえ言えるんです。もちろん、友達ではありませんから、尊敬する気持ちはあるんですよ。海外の教育のあり方を知ると、日本の学校に対する授業料を払つているのは私たちな

のに、という気持ちは理解できますね。

鶴下 海外では、先生も生徒もみんなで樂しんでいますね。樂しさを演出するのも上手。ファンシーデーという学年最後の日に、先生たちが生徒にプレゼントをくれたんですね。それが、アイスクリーム売りの車を校内に呼んで、「おこりだ、おこりだ」とつて。

全員 すごい!

井川 日本の先生は、生徒と関係を持ちたがらないと思うんです。

海外では、かまいたいし、かまつてほしいんですよ。

鶴下 日本では、勉強しようと後ろからプッシュされるじゃないですか。海外では、自分がやらないと、それは君の決断だからと言われる。

小倉 今のは強制ですね。

課題をして、発表して終わり。何の意味があるのかと思う。(学習院女子大学は)今年創立した大学

大学じゃない、ととても期待して入学したんです。でも、正直に言つて失望するところもある。

勝田 私も、国際コミュニケーション学科自体に惹かれて入学したんですけど、満足しているとは言えないですね。

全員 そうだね……。

井川 意見を言つて、(大学側が)聞かれてくればいいけど……。

鶴下 授業は先生が一方的に進めているのが多い。機能しているのは少ないので、先生と仲よくし



留学生インタビュー

イネツサ・マツタさん(国際コミュニケーション学科1年)

私は、子供のころから日本に興味を持っていました。両親も東洋学を学び、その影響が大きかったんですね。私も東洋学を学び、母國ロシアでは、大学院の国際関係学部に籍を置く院生です。来日したのは、特に日ロ関係に興味があつたから。それに、日本人の日常生活や心理を理解したかったです。

日本人とつきあつて感じるのは、礼儀正しさと丁寧さです。これらは歴史と深い関わりがあると思います。でも、若者は変わりましたね。それはいいことだと思いますよ。現代女性は男性と対等に働くことを望んでいると思いますからね。ロシア人が日本人に対して持つている印象は、口数が少なく、内気な人たち、といふものです。

でも、実際は、友達になるいろいろなことが話せるし、意見を交換することもできます。ロシアでは、日本人は勤勉のシンボルです。来日して経済力や技術力を目の当たりにすると、それも実感できました。

留学時に役立つ生きた英語を学ぶ。

国際文化交流学部の必修科目のひとつが、留学する場合に、直接生きてくる外国語科目です。拝見したのは、B・ミッセル講師の「オーラルコミュニケーション」。まず驚いたのは、教室の外まで聞こえてくる学生たちの大きな声です。英語の知識を躍動的に使えるよう、リラックスした雰囲気を作り出すのがミッセル講師の考え方。席を立つてペアワークをする学生たちは、会話を集中し、まさにミッセル講師の意図どおりに学習を進めているわけです。



司会 前田佳子さん

平成5年、三菱地所住宅販売入社。宅地建物取引主任者。本誌には編集部ランティアで参加。今回、司会を担当。



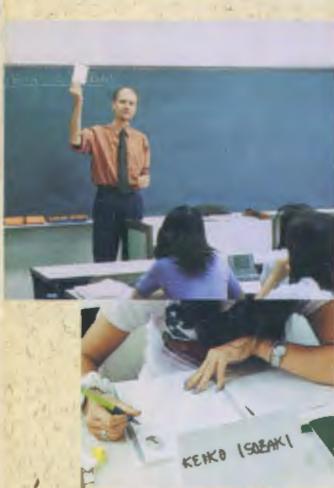
井川光恵さん

昭和52年生まれ。中学生のとき、香港滞在を経て、約80ヶ国籍の生徒が在籍するスイス、Collège du Lémanに編入。



小倉洋子さん

昭和54年生まれ。高2の秋、アメリカ、Fryeburg Academyに編入。犯罪防止のセキュリティに日米の違いを痛感。



上「オーラル コミュニケーションIB」のミッセル先生は、いろいろなアイデアで学生の発言を促す。下/机上にはそれぞれの学生の名前が、欧米スタイルの即席ネームカードだ。



上／昼休みのキャンバスの中庭。友達と、会話を楽しむ様子は、開放感にあふれている。下／図書館の約1500本のビデオは、映画に限らず多岐にわたる。授業の資料にもなる。

鴨下 個性がある、流行がない、ということですね。向こうで、友達と日本の雑誌を見ていたら、みんな同じ格好していて、彼女たちに「宗教みたいで気持ちいい」と言われたのはショックでした。

鶴下 私は今は、日本人のほかの友達よりも、精神的に強いと思います。実際、友達にも強くなつたと言われますし。

司会 日本の授業や先生に対して、思ふところがかなりおありのようですね。同時に、海外の生活を充分に楽しめられたんでしょうね。**小倉** やりたいことはすべてできました。考え方を変わりましたね。**鶴下** 日本では、みんなが持っている私のイメージがあつたけど、現地では周囲の目を気にせずに何だから自分でやる。

たいと思つても、授業が終わると先生はすぐに帰つちゃうから、仲よくなれないし。

小倉 伸 よくなつても、「おまえは勉強してない！」と、すぐにそんな話題になつてしまつ（笑）。

誰かが乗り移っていたような感じ
がするほど、変わりましたね。

勝田 私も行つてよかつたと思つ
てます。語学ではかなり苦労しま
したけど。

井川 私が編入したとき、みんな
集まつてきてくれたんです。でも、
逆の立場なら、私はできなかつた
と思うんです。今ならできますね。

勝田 アルゼンチンもそうなんですが、一人ひとりが独立した格好してるんですね。それぞれが責任を持って行動してるし。

「クリしたんです。高校生が花をつけてたじやないですか
鴨下 日本の高校生ってブランクが好きでしょ。どうして?
井川 流行だからじゃない?
全員 そうそう(笑)。
勝田 私も行ってよかつたと思つてます。語学ではかなり苦労しましたけど。
田中 誰かが乗り移っていたような感じがするほど、変わりましたね。
田中 でもできました。留学前の自分は

A photograph of a classroom scene. A teacher stands at the front of the room, facing a group of students who are seated at their desks. The teacher is positioned near a chalkboard. The students are looking towards the teacher, indicating a lesson or presentation is taking place.

インターネットで世界の情報収集。

A classroom scene showing several students sitting at their desks, each working on a computer monitor. The room has white walls and fluorescent lighting, typical of a school environment.

コンピューター実習室。利用時間が近づくと学生の列ができるほど！無

女子大学の誇るべきもうひとつ
の設備はコンピューター・ネット
ワークです。コンピューター実習
室や学生閲覧室などに設置された
パソコンやワークステーションは
ネットワークで結ばれ、インターネット
にも接続されています。(国
際文化交流学部にふさわしく、電
子などが利用でき、世界中のた
るのです。コンピューター実習室が
多くの学生でにぎわっています。

「菊と刀」を題材に、ひとりの学生が研究発表し、他の学生が質疑します。発表者は著者になり代わって答え、他の学生は異なる視点で検討します。こうして、日本文化の特徴として指摘されてきたことを学んでいきます。

「日本文化基礎演習」の授業風景。 学生の研究結果に対する説明

国際文化交流学部における日本文化学科は、日本文化の伝統と特質についての説明能力を高めることと、正確な発信能力を培うことを目的としています。

自ら研究し、日本文化を学ぶ

国際文化交流学部における日本文化学科は、日本文化の伝統と特

Oblige 40



今里佳代子さん(平6年)
三菱商事株
船舶・鉄鋼部

OGからのアドバイス



古本彰子さん(平6法)
三菱電機株
ビル海外1部

変化している。

若い世代の人

たちは変化している。

も実現しない」と考えるようにな
りました。この気持ちで、いろんな
なことをしたいと思います。親に
はきつくなりすぎないように気を

つけると言われますけど

小倉 昔は音楽が好きで、ナロデ
ユーサーになりたいと思いました

今は、外国人に触れ、英語を話す

ことが好きなので、国際関係の仕事したいですね。

勝田 以前は幼稚園の先生になり

たかつたんですが、もつといろい

本居宣長集

「いや、これでいい。」
外での生活を無駄にせず、自分のやりたいことを見つけたいですね。
全員 そうだね。

鴨下 このままだと日本の習慣や考え方には、また馴染みそうで怖い
全員 そうそう！

鴨下 帰国子女会、作ろうか（笑）。
司会 本日は、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。
ざいました。みなさんのような方が、これから日本を改善してくださることを期待しております。

座談会を終えて

座談会に先がけて回答いただいたアンケートで、3人が接客業のアルバイトを経験していました。お話を聞いてみて興味深かつたのは、3人ともそこで言葉遣いや礼儀を学んだことです。日本での敬語や礼儀作法には、やはり苦手意識を自覚しているようですが、これからも彼女たちらしい言葉で、どんどん直言してほしいと思います。(前田)

帰国子女が生きていける日本とは

特性を失くす子女たち

岩佐三郎

(財)海外子女教育振興財団 総務部 インフォメーション・サービス課長

ひとつは親の問題です。大学は本来何を学びたいかによって決められるべきもの。しかし親は、その大学に行くのが損か得か、大学名というブランドの損得、就職に有利かの損得、帰国子女選択試験があるかどうかの損得を考えがちです。そのとき、海外で独立心を養ってきたはずの子供たちも、帰国すると、親子間の力関係が逆転し、親の意向を無視できず、従うケースが増えているようです。

私が子女に求めたいのは、帰国後は率先して、与えられた能力を伸ばすこと。人生に棹^{さお}することは辛いことかもしれない。でも、自分にとってプラスなら、すべきことだと思います。

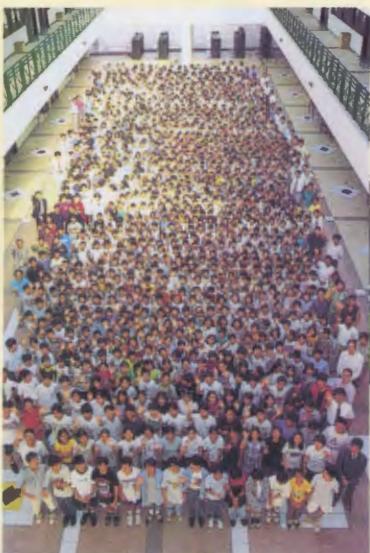
育つた子供たちとは違うものを見てきます。そこで培われるのが、個々の違いを認める、という価値判断力。ある意味でおおらかさです。ところが、帰国すると、ほとんどの子女がこの長所を失いがちです。それには、いくつかの理由が挙げられます。

ばそうとすると、他の子がひがみ、足を引っ張ることがあります。みんなが同じでなければならぬ。逆に、海外勤務＝エリートという自負がある親は自分の子供が落ちこぼれるのは耐えられない。落ちこぼれた子供を救う術を知らないのです。これは、もうひとつの親の問題、不安症候群です。

私がシンガポールで過ごしたのは4～9歳です。海外ではそれの個性や性格が尊重されるので、たとえば定期に退社することも当たり前のことであります。日本では上司が残っている限りは部下も残らなければ、という感覚があります。ただ、今はそれも転換期に来ていると 思います。結婚しながら働く女性が増えているのは、男性の意識も変わつてきているから。私は、彼らが自分から変わつてしまっていると信じたいですね。

金融業界では髪型や爪の長さまで注意されると聞きますが、個を認めていないからですよね。でも、少なくとも私たちと同世代の人は変わってきたと思います。まわりでも、自分を殺している人はいませんね。幸いにも私の部署は自己管理が任され、アウトプットができればかまわない、という考え方です。海外生活の経験者が多いので、そういう人たちには個性を尊重する社会人というのを、身をもつて学んだ人が多いのだと思います。

金融業界では髪型や爪の長さまで注意されると聞きますが、個を認めていないからですよね。でも、少なくとも私たちと同世代の人は変わってきたと思います。まわりでも、自分を殺している人はいませんね。幸いにも私の部署は自己管理が任され、アウトプットができればかまわない、という考え方です。海外生活の経験者が多いので、そういう人たちを尊重する社会人というのを、身をもつて学んだ人が多いのだと思います。

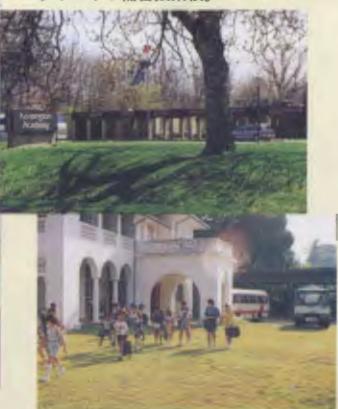


サンディエゴ補習授業校・校舎移転記念



インディアナ補習授業校。

デトロイト捕習授業校。



ヤンゴン補習授業校

変

化は望んでも拒んでも、確実に訪れる。ただ、その変化が自分にとって、あるいは人類全体にとって好ましいものかどうかはまた別な話だ。

ごく近い例だが、ファッションなどはこの「変化のスーパー・マーケット」のようなもので、年に一回は黙つていてもちゃんと訪れてくるし、また力づくでもこの周期を保守したいものらしい。

だから、「変化大好き人間」を自称し、新しい事象に出会つたら、どうにもじつとしていられないという性分の方は、この年に一回の最新流行のファッションで身を包めば、人心地がつくはずで、とりあえず「今日」という時代を体現した氣にはなれるから、一度お試しいただきたい。

大人のおしゃれに洗練を加えるために
雪三郎イズム

vol.3

流行の方法論

繪と文 渡辺雪三郎（ファッショントレーナー）

流行を楽しむ

さて、流行が好きでも嫌いでも、気がつくとどこからか生まれてしまふのは致し方ないこと。なれば、この生まれてしまつた流行を、いかに味方とし、いかに楽しむかを考えみたいと思う。

本来、理想とされるのは、自然に身体が流行に馴染んでしまうような幼児体質ならば、もつともよい。しかし、やや人生に厚みを増せば、人間そうそう軽やかに、言い換えれば、無責任に生きてゆけるわけもなく、どこかで自分の枠を持つてしまうのは、仕方のないこと。そこで極力、負担の少ない流行へのストレッチ体操をお薦め



粹な着こなしへの第一歩——それはまず、「遊び心」と「柔軟さ」を持つこと。流行に振り回されず、折らず、気軽にドライする」とから始まる。適度なバランス感覚を身につけた時、洗練が加わる。

Men

まず、衣服なら今流行っていると言われるものを気軽に着てみると、行為なら習うより慣れる心意気で勇氣をもつてトライしてみることからだろう。無論、人間、少しの分別は必要だから、年齢に応じ、体格に合ったストレッチ体操であることは言うまでもないが。とにかく考えるより行動が効果を上げる。

そして、この基本がしっかりと身につき、習慣となれば、後は、自分に似合うもの、相応しいもの、さらに好きなものだけをチョイスしても、決して流行からズレたりしないはずである。

結局、食わず嫌いは、この場合も良い結果を生まないし、生きる世界を狭めてしまうことだけは確かである。ましてや、たかだか流行と考えれば、一本のネクタイ、一枚のスカーフがなにあろう。とりあえず買ってみて、とりあえず襟元を飾つてみて、すべてはそこから考えてみても遅くない。

たとえば今秋の一つの傾向が、ミニマリストから、アーティスティックへというのなら、早々にランジェリー ルックに見切りをつけるのが肝要だ。そして、この見切

りのつけ方とタイミングを覚えるには、まずミニマリストの洗礼を受け、飽きるほどのミニマリストとの同化を経験するのが一番の早道なのだ。

そのうち、きっと同化せずともその流行の正体が自分といかなる関わりを持つものか、というのが、こんな経験を経ざともわかるはずなのだ。

一言で言えば、最終的に好きこそもの上手なれ、が成功の鍵を握っているのである。

そして、もう一つ、流行には決して手出しをしてはならないものもあるということを、頭のどこかにとどめておいても悪くない。

その危ない流行とは、商業主義の匂いのみが表面に浮き出した露骨な流行である。

流行の落とし穴

流行を暮らしの中に、エッセンスとして取り入れることは、窓辺に花を飾るほどの意味で、一日を明るいものにしてくれる。だから、流行へのアプローチに必要以上に敏感でなくともよいし、こだわり過ぎることもかえつて効果が薄い。かといって妙に頑なに否定し、むきになつて抵抗するのも、少しばかり過剰反応で、遅れることを恐怖して、流行マニアになってゆく過程によく似ている。やはり、この場合も大人ならではのバランスのとれ

た感性がもつとも有効ではなかろうか。

ただ稀に、あくまで変化や流行を、同様の洗練された大人の観念で拒否し続けるのも、難易度が高いが美しいおしゃれとして存在することを付け加えておこう。

ファッショントレーニングをはじめ流行それ自身、経済に深く関与していることは否めない。が、流行が人間の自然な感情を逆なでし、変化がたわいのない基本的な幸せまでもねじ伏せるものであつたなら、どうしてこれらが日常のエッセンスの効用たりうるであろうかと考へる。

粹も過ぎれば野暮となり、流行も優雅の前では意味もない。

流行し保守、アクティバとエレガンス……
一見、相反するような二つの要素の間に揺れないが、自然に「自分のこと」おしゃれを確立していく。「スタイルのある」おしゃれは日々の暮らしの中から生まれるのだ。

Women

わたなべ・ゆきさぶろう/1949年東京生まれ。セツ・モード・セミナーを卒業後、72年(株)ミッチを設立し、婦人服プレタポルテを発表。第1号店として自らでショップを開く。75年オートクチュール部門を設立、さらに靴、バッグ、紳士服、時計、ジュエリー、きものなど幅広くデザイン活動を行っている。上品で優雅なコスチュームを創造する、デザイナーの第一人者。

Yukie Watanabe

●マッシュルームの原産地はヨーロッパ。ローマ時代から野生のものが食べられていたが、17世紀になってフランスで栽培された。世界中で需要の多いハラタケ科のキノコで、日本名ツクリタケ。

■桜友クラブ会員誌部会

部会長

矢野 坦（昭34仏）

●編集分科会

担当理事

高杉 善治（昭47政）

編集チーフ

白井 康裕（昭51政）

分科会員

今村 明美（昭47短英）

足立みなみ（昭60法）

吉田恵美子（昭60仏）

加治 佳子（平3短国）

奥野 留美（平3短英）

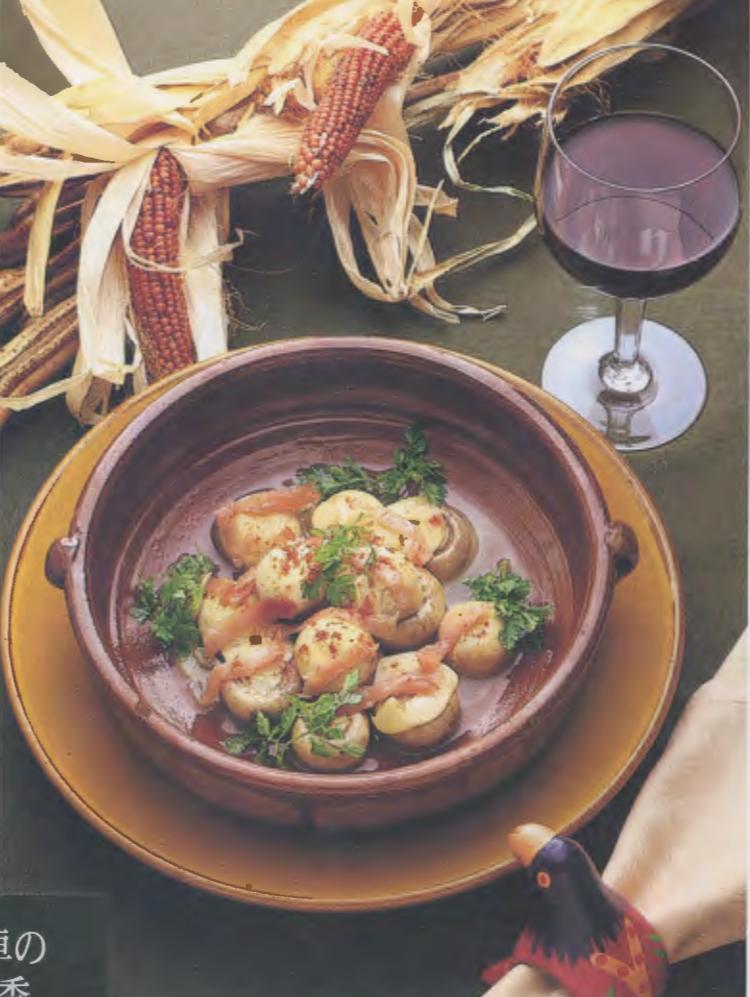
前田 佳子（平5政）

木村公美子（平6仏）

高橋 直子（平6仏）

安田 順子（平7哲）

名取 知香（平9法）



食卓の四季 VOL.3

江上種英（昭60経）

えがみ・たねひで／1963年東京生まれ。江上料理学院主幹。食品食材のコーディネートに従事。「日刊スポーツ」、「小説すばる」、「久保田通信」などにエッセイを執筆。

マッシュルーム Mushroom

どんな素材や、調理方法と組み合わせても、おいしく食べられる「マッシュルーム」。その愛らしい形も、すっかり一般的になつていながら、明治初年に日本に導入された後は、長い間ほとんど普及しなかつた。戦後、清潔な栽培方法が開発され、食生活の洋風化と共に、生活の中に定着していった。

香りが強くアメリカやカナダから輸入されるブラウン種と、茨城県や千葉県で栽培されるホワイト種が出回っている。また、高級食材店では「シャンピニオン・ド・パリ」と称して、ホワイト種をフランスから空輸している。

ラテン系の人々もマッシュルームが大好きだ。スペインにはどんなに小さい村でも「バル」がある。「バル」とはバーとカフェと惣菜屋を足したようなもので、簡単な椅子もあるが、多くは立つまま飲み食いする。ハムやオムレツなど専門の料理に特化している場合も多い。ここで出される小料理を「タパス」という。

バルセロナには「バル」の集合地帯があり、そのエリアのワイングラスは共用で、最初の店でワインを買ってあちこちの「タパス」を食べ歩き、最後の店でグラスを返せばいい。素材を生かした料理が多いので、マッシュルームはひつぱりだこだ。牛の血の色の赤ワインを楽しみながら、情熱の街の夜は更けていく。

HOW TO COOKING

■マッシュルームのセゴビア風
①マッシュルームは、さつと洗って石づきを根元

から切り、裏に塩、胡椒、カイエンペッパーを振る。

②生ハムを粗切りにして①にのせる。
③厚い鍋にオリーブオイルを熱し、ニンニクの薄切りをちらして②を並べ、蓋をして蒸し焼きにする。

[オブリージュ] Summer No.22
Oblige

1998年7月25日発行

発行人／賀陽治憲

発行所／桜友会

〒171-8588

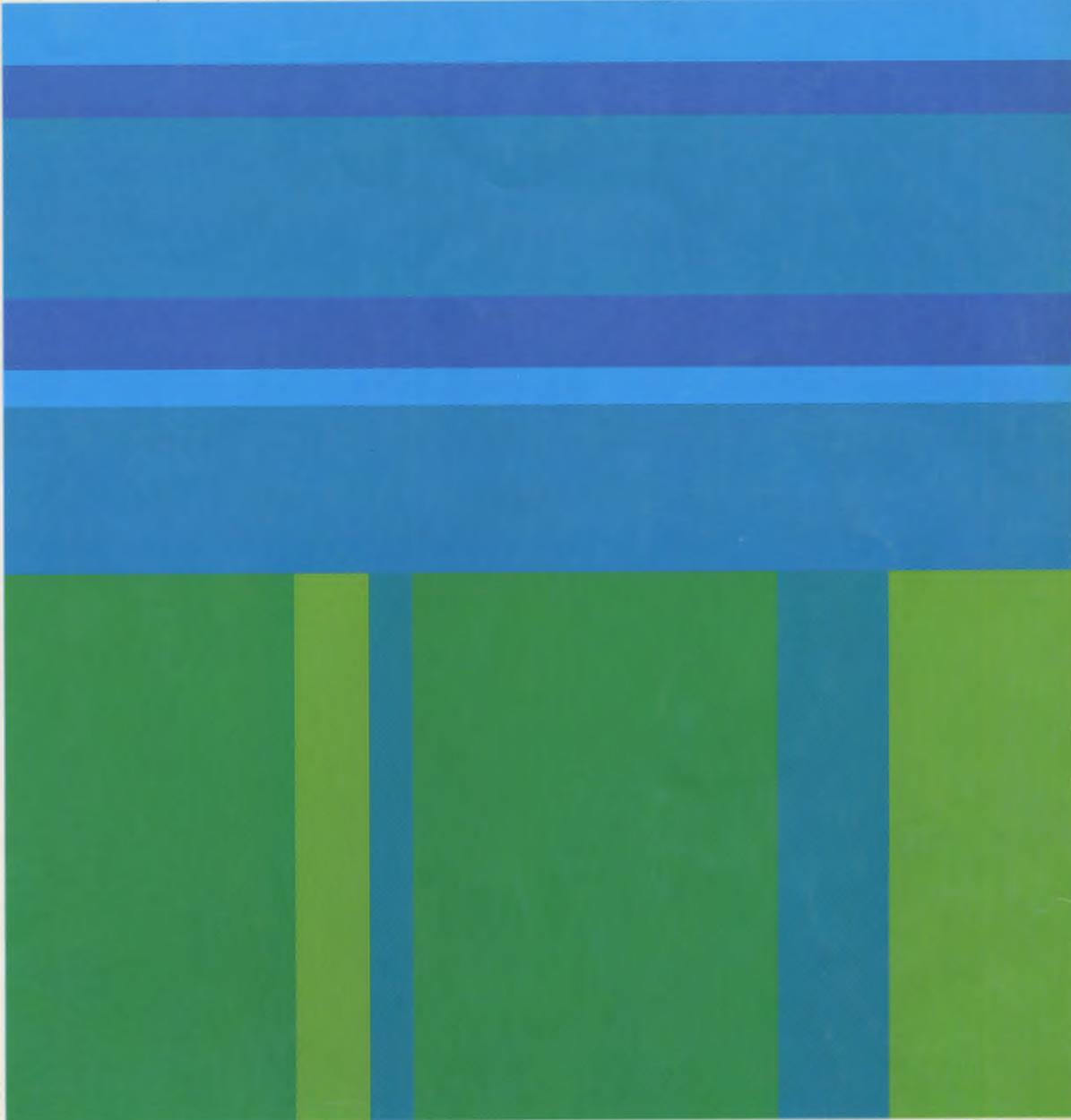
東京都豊島区

目白1-5-1 学習院内

☎03(3988)3288

編集人／村上智也

印刷所／高陽堂印刷



もっと魚を。
もっと緑を。
カジマ

こわれた自然をモトに戻すのも技術のひとつです。
環境と仲よく。カジマ

KAJIMA CORPORATION
本社：〒107-8388 東京都港区元赤坂1-2-7
ホームページ <http://www.kajima.co.jp>